Form No. 3458-343 Rev B

キャブキット

シリアル番号 315000001 以降の Groundsmaster® 4500-/4700-D および Reelmaster® 7000-D トラクションユニット

モデル番号 30901—シリアル番号 400000000 以上

オペレーターズマニュアル

注 このキャブは、シリアル番号 400000000-405699999 のリールマスター 7000-D 以外には取り付けできません。

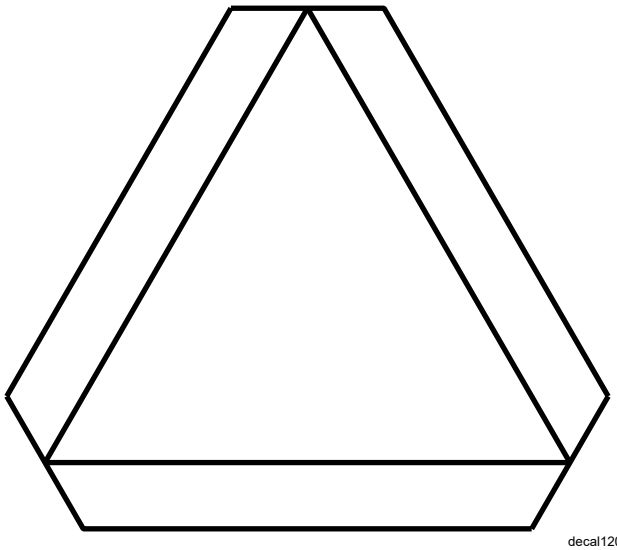
注 キャブは重量が 318 kg あります。定格吊り上げ重量 340 kg (750 lb) 以上の吊り上げ設備が必要です。

安全について

この製品は、関連する全ての欧州指令に適合しています。詳細についてはこの冊子の末尾にあるDOI適合宣誓書をご覧ください。

安全ラベルと指示ラベル

危険な部分の近くには、見やすい位置に安全ラベルや指示ラベルを貼付しています。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼付してください。



120-0250

1. 低速走行車両標識



decal130-0594

130-0594

1. 警告*オペレーターズマニュアル*を読むことキャブ内では必ずシートベルトと聴覚保護具を着用すること。

© 2023—The Toro® Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420

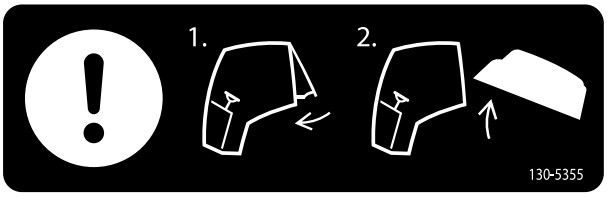
製品の登録は www.Toro.com.

この文書は翻訳です。 (JA)

Printed in the USA

禁無断転載

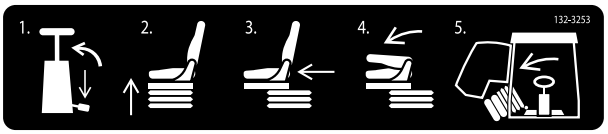
3458-343



decal130-5355

130-5355

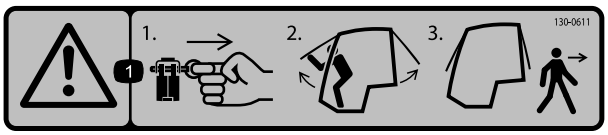
1. 後窓を閉じる。
2. フードを上げる。



decal132-3253

132-3253

1. ステアリングコラムを前へ出す。
2. 座席を一番高い位置にセットする。
3. 座席を一番前の位置に移動する。
4. 背もたれを倒す。
5. 座席を横に倒す。



decal130-0611

130-0611

1. 警告 1) ピンを抜き、2) 窓を押し上げて、 3) 車両の外へ出る。

組み立て

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	–	キャブユニットを取り付ける前にマシンの準備を行います。
2	左前マウント 右前マウント 左後マウント 右後マウント ゴム製アイソレータ	1 1 1 1 4	キャブを取り付けるための備品を準備します。
3	左前ウレタンシール 中央前ウレタンシール 右前ウレタンシール 左側ウレタンシール 右側ウレタンシール 左タンク用ウレタン 右タンク用ウレタン 左後ウレタンシール 右後ウレタンシール 後部ウレタンシール	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	マウントとフレームにウレタンシールを取り付けます。

手順	内容	数量	用途
4	左前マウント 右前マウント ボルト⅜ x 1" フランジナット⅜" ロックナット⅜" 左後マウント 右後マウント	1 1 7 5 2 1 1	マウントを機体に取り付けます。
5	キャブ ボルト½ x 3¼" ワッシャ2¼" ワッシャ1⅜" ロックナット½"	1 4 4 2 4	キャブユニットを機体に取り付けます。
6	左後部パネルアセンブリ 右後部パネルアセンブリ ボルト¼ x ¾" クリップナット フランジナット¼" 内装用パネル 断熱ブランケット 床板	1 1 6 4 2 1 1 1	パネルとフロアを取り付けます。
7	フィッティング⅜ NPT x 0.625 バーブ ホースクランプ 90度フィッティング¾" 90度フィッティング⅞" R クランプ	2 2 1 1 2	ホースを取り付けます。
8	ウォッシャー液タンク タンク用マウント タンクプレート キャリッジボルト5/16 x ¾" フランジナット5/16" スエルラッチ スエルラッチ用ブッシュ スエルラッチ用ナット R クランプ	1 1 1 4 4 1 1 1 1	ウオッシャー液タンクとマウントを取り付けます。
9	ケーブルタイ	5	ワイヤハーネスを接続します.
10	安全ステッカー	1	後窓に安全ステッカーを貼り付ける。
11	必要なパーツはありません。	–	組み立てを完了します。

1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

機体を適切に配置する

注 エアコンキットを取り付ける場合には、このキャブと一緒に取り付けてください。

1. クレーンかホイストの下に作業用の空きスペースを作る。

   注 クレーンホイストがキャブ取り付け作業中にキャブを十分に支えておく能力があることを確認する。

2. ホイストの下へマシンを移動し、駐車ブレーキを掛ける。
3. エンジンを止め、キーを抜き取る。
4. 取り付け作業中に機体が動かないように各タイヤをブロックする。
5. バッテリーを外す*オペレーターズマニュアル*を参照。

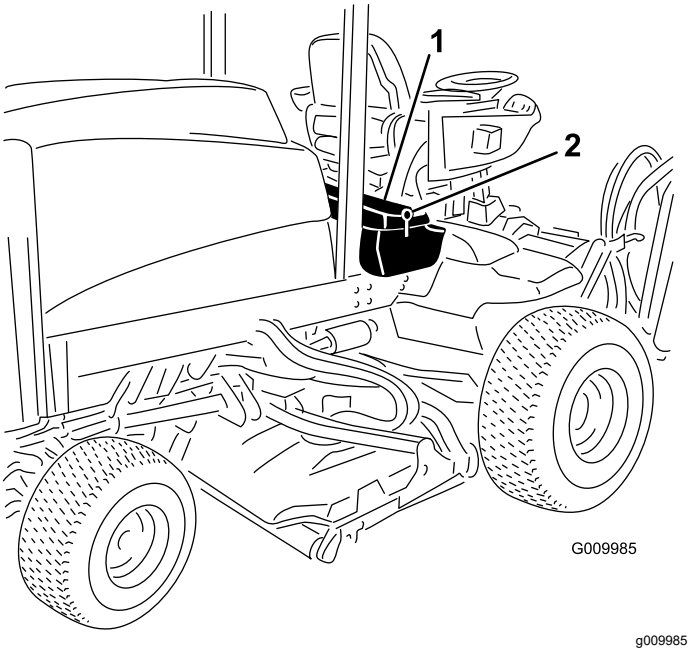
バッテリーの取り外し

⚠ 警告

バッテリーケーブルの接続手順が不適切であるとケーブルがショートを起こして火花が発生する。それによって水素ガスが爆発を起こし人身事故に至る恐れがある。

- **ケーブルを取り外す時は、必ずマイナス黒ケーブルから取り外す。**
- **ケーブルを取り付ける時は、必ずプラス赤ケーブルから取り付け、それからマイナス黒ケーブルを取り付ける。**

1. 運転席のコンソールパネルのラッチを外して持ち上げる図 1。

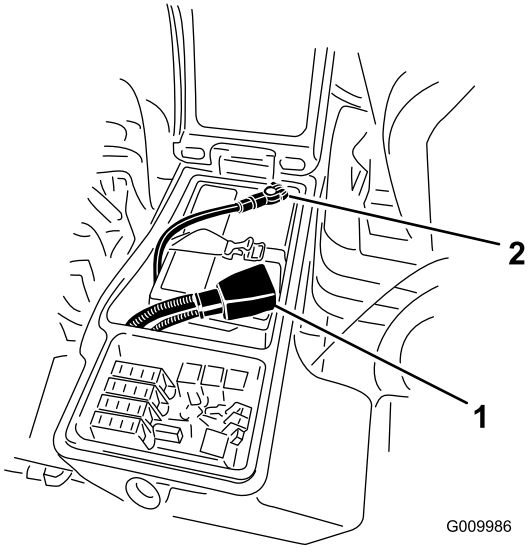


g009985

図 1

1. 運転席のコンソールパネル　2. ラッチ

2. バッテリー端子からゴム製カバーを取り外す。
3. バッテリーのマイナス-端子からマイナスケーブル黒を外し、次に、プラス+端子からプラスケーブル赤を外す図 2。



g009986

図 2

1. プラス 端子　　2. マイナス 端子

4. バッテリーを外して保管する。

ROPS の上部ボルトを取り外す

重要 **ROPS のボルトを外す時は、誰かにROPSを支えてもらっておいてください。**

1. 機体左側の荷物置きスペースを固定しているボルトを取り外す。捨てないこと図 3。

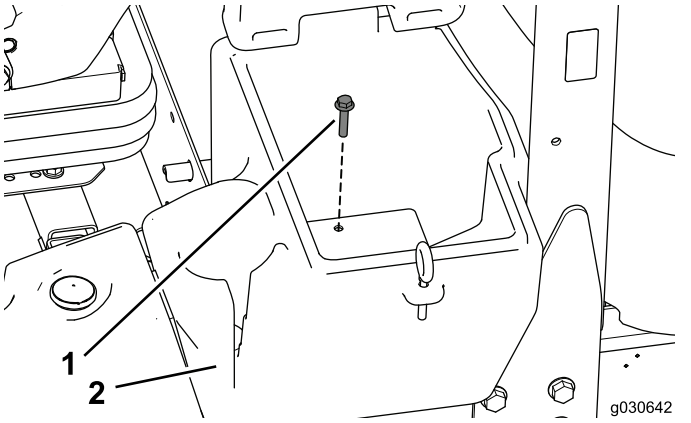


図 3

1. ボルト
2. 物入れ

2. 物入れを外して保管する。
3. ROPS をフレーム上部に固定しているボルト2本、補強プレート、フランジナットを外す。捨てないこと図 4。

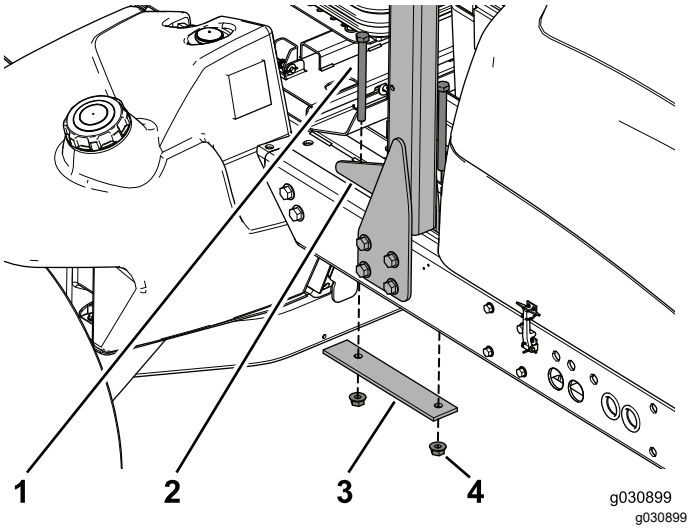


図 4

1. ボルト
2. ROPS バー
3. 補強プレート
4. フランジナット

4. 補強プレートを固定しているねじと、バッテリーコンパートメント図 5を固定しているボルトを外して保管する。

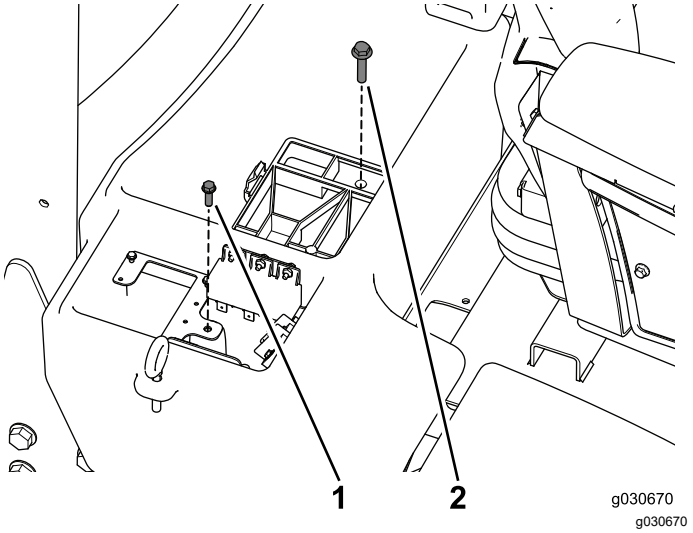


図 5

1. ねじ
2. ボルト

5. バッテリーコンパートメントを固定しているボルトとクランプを外して保管する図 6。

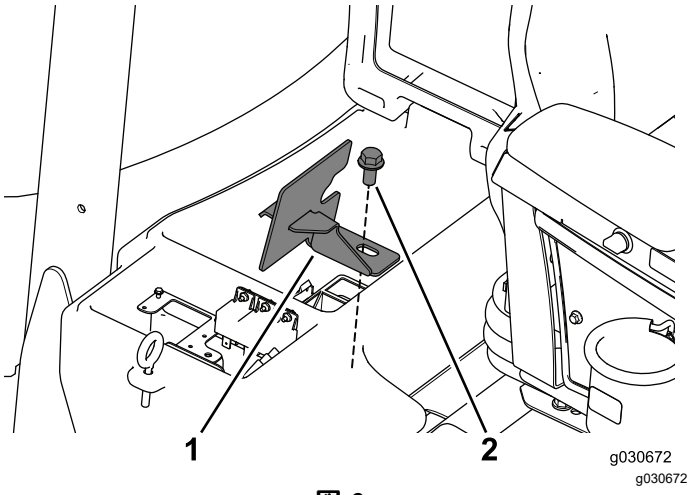


図 6

1. バッテリーコンパートメントのクランプ
2. ボルト

6. 補強プレートとバッテリーコンパートメントの位置をずらすなどして、ROPSをフレーム上部に固定しているボルト2本、補強プレート、フランジナットを外す図 7。外した部品類は捨てないこと。

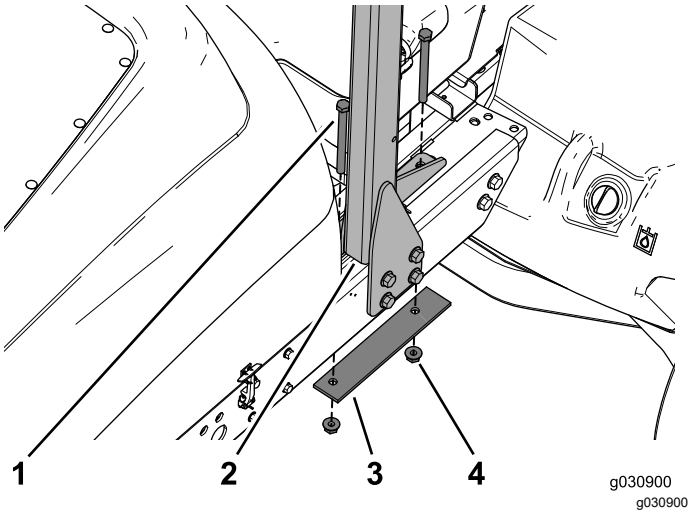


図 7

1. ボルト
2. ROPS バー
3. 補強プレート
4. フランジナット

ROPSを取り外す

重要 **ROPS のボルトを外す時は、誰かにROPSを支えてもらっておいてください。**

1. ROPS を機体左側に固定しているボルトを取り外す図 8。

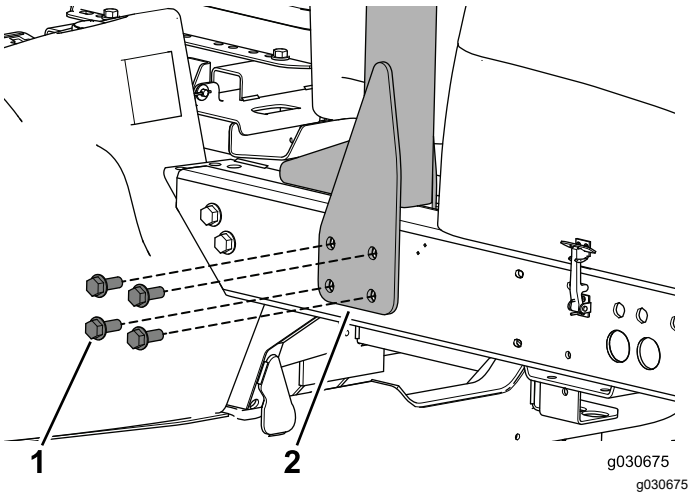


図 8

1. ボルト
2. ROPS バー

2. ROPSを取り外す時は誰かに手伝ってもらってください。
3. ROPSを保管する。

2

キャブマウントを準備する

この作業に必要なパーツ

1	左前マウント
1	右前マウント
1	左後マウント
1	右後マウント
4	ゴム製アイソレータ

前マウントを準備する

前マウントの各穴にゴム製アイソレータを挿入する図 9。

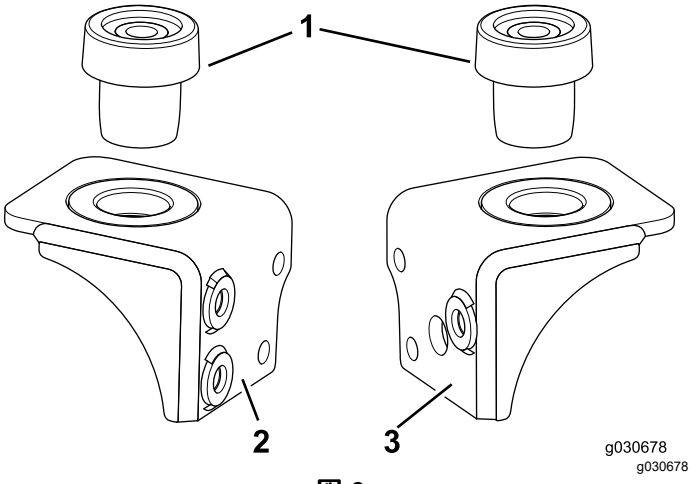


図 9

1. ゴム製アイソレータ
2. 左前マウント
3. 右前マウント

注 ゴム製アイソレータが穴に入りにくい場合は石鹸液と木槌を使うと便利です。

前側の取り付け穴を開ける

以下の作業は、必要な時のみ行ってください。

図 10に示された位置に、右前マウント用の穴直径10.3 mmを2つ開ける。

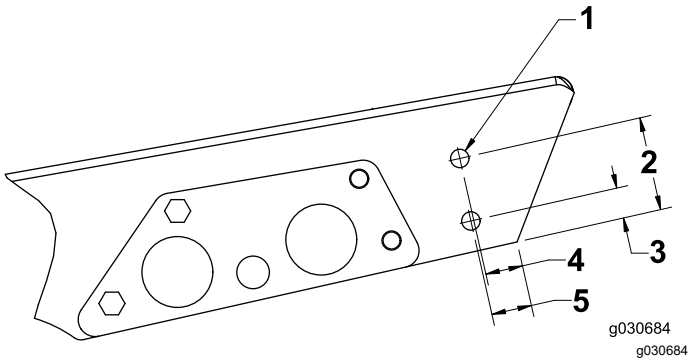


図 10

1. 穴直径 10.3 mm
2. 52 mm
3. 17 mm
4. 21 mm
5. 23 mm

後マウントを準備する

1. キャブフレームの左後マウントの穴にゴム製のアイソレータを挿入する図 11。

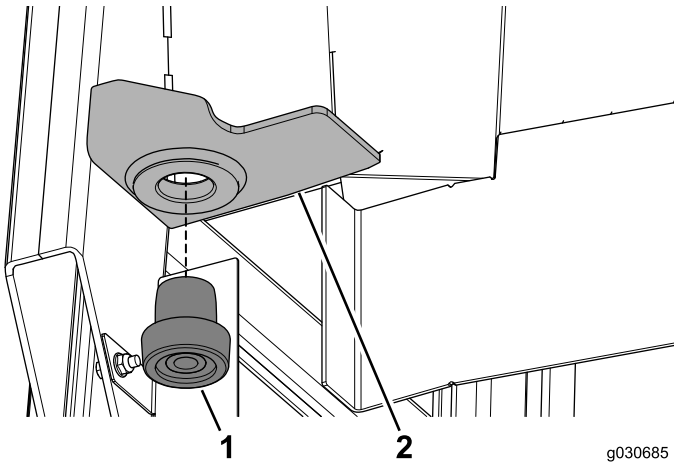


図 11

1. ゴム製アイソレータ
2. 左後マウント

2. キャブフレームの右後マウントの穴にゴム製のアイソレータを挿入する図 12。

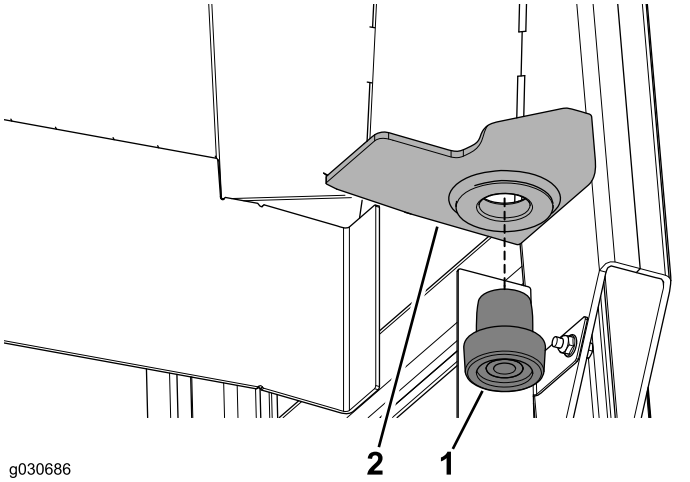


図 12

1. ゴム製アイソレータ
2. 右後マウント

注 ゴム製アイソレータが取り付けにくい場合は石鹸液と木槌を使うと便利です。

3 ウレタンシールを貼り付ける

この作業に必要なパーツ

1	左前ウレタンシール
1	中央前ウレタンシール
1	右前ウレタンシール
1	左側ウレタンシール
1	右側ウレタンシール
1	左タンク用ウレタン
1	右タンク用ウレタン
1	左後ウレタンシール
1	右後ウレタンシール
1	後部ウレタンシール

前部用シールを貼り付ける

キャブユニットの前側エッジからおよそ 3 mm 離して、前用シールを取り付け、次に左右のシールを取り付ける図 13。

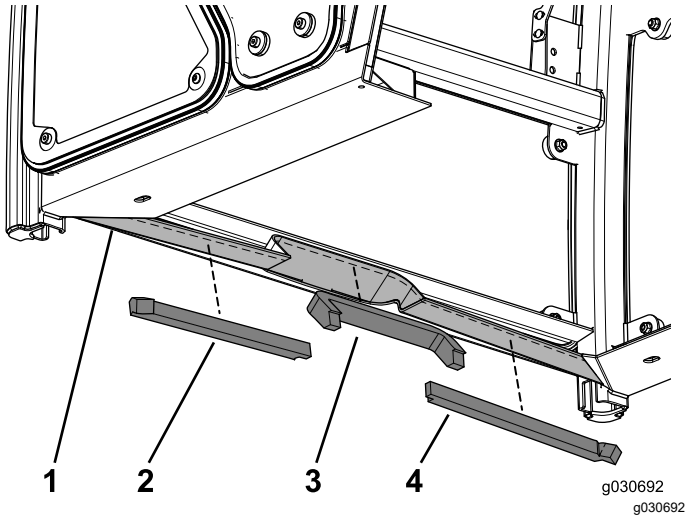


図 13

1. 貼り付け場所
2. 左前ウレタンシール
3. 中央前ウレタンシール
4. 右前ウレタンシール

注 各シールの端部を相互に嵌め合わせてしっかりとふさぐ。

側部用シールを貼り付ける

1. キャブユニットの左前側エッジからおよそ 3 mm 離して、左用シールを取り付ける図 14。

   注 各シールの端部を相互に嵌め合わせてしっかりとふさぐ。

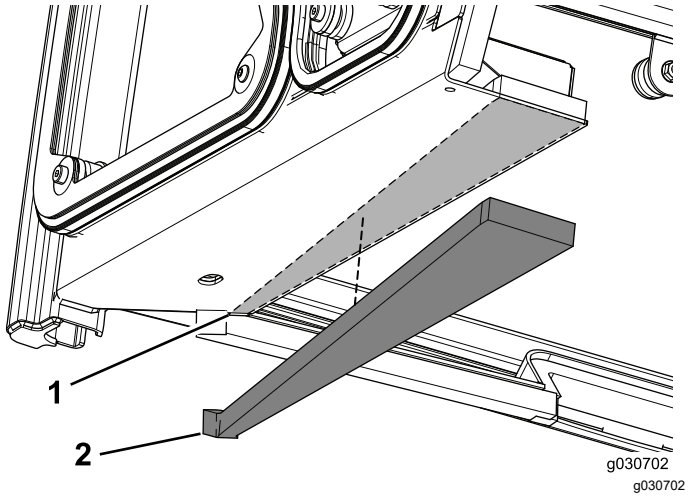


図 14

1. 貼り付け場所
2. 左側ウレタンシール

2. キャブユニットの右前側エッジからおよそ 3 mm 離して、右用シールを取り付ける。

   注 各シールの端部を相互に嵌め合わせてしっかりとふさぐ。

3. キャブユニットの左右両側の両面テープについている裏紙をはがす図 15。

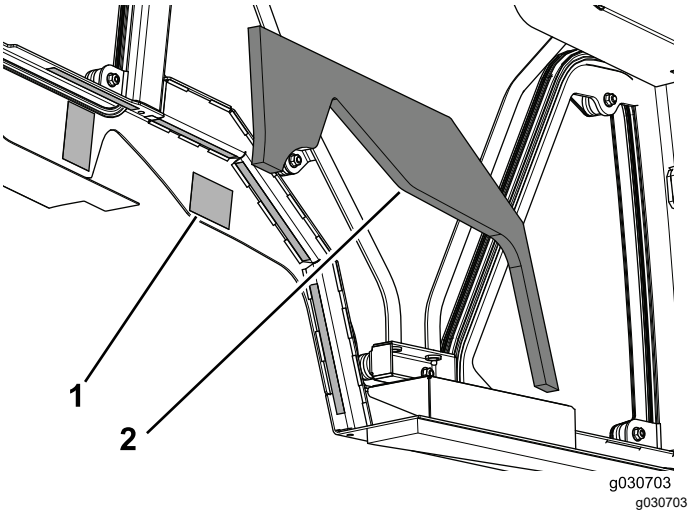


図 15

1. 両面テープ
2. 左タンク用ウレタン

4. キャブユニットに左タンク用ウレタンを取り付ける図 15。
5. キャブユニットに右側シールを取り付ける。

後部用シールを貼り付ける

1. キャブユニットの後部の両面テープから裏紙をはがす図 16。

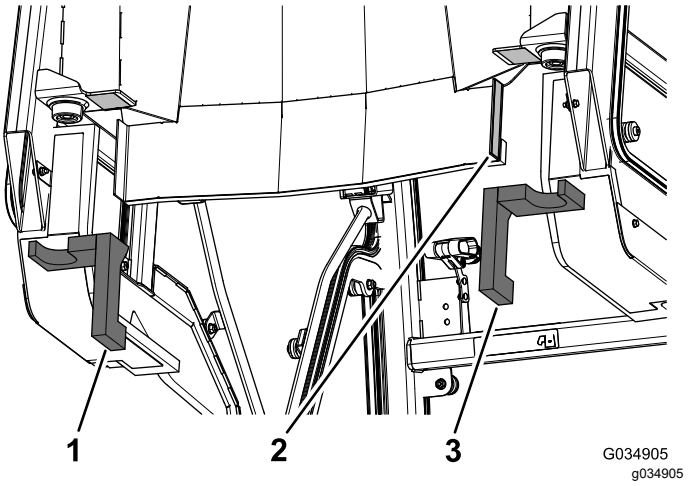


図 16

1. 左後ウレタンシール
2. 両面テープ
3. 右後ウレタンシール

2. キャブユニットに左後部用と右後部用シールを取り付ける図 16。
3. キャブユニット後部に、後部用シールを貼り付ける図 17。

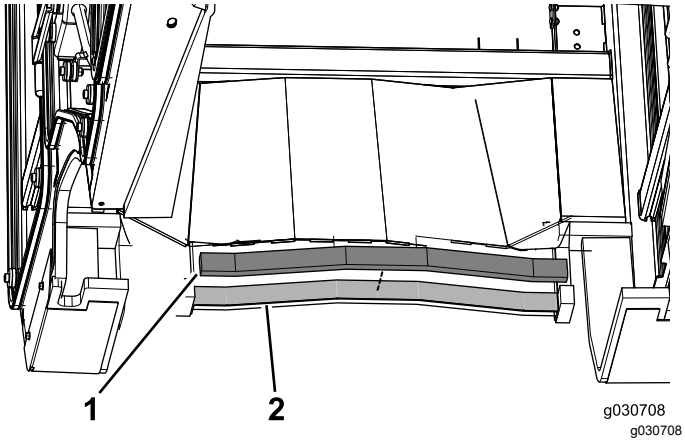


図 17

1. 後部ウレタンシール
2. 貼り付け場所

4

キャブマウントを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	左前マウント
1	右前マウント
7	ボルト⅜ x 1"
5	フランジナット⅜"
2	ロックナット⅜"
1	左後マウント
1	右後マウント

左前マウントを取り付ける

1. 既存のボルト類を外し、代わりにボルト⅜ x 3"3本とフランジナットを使用して、マウントを機体に固定する図 18。

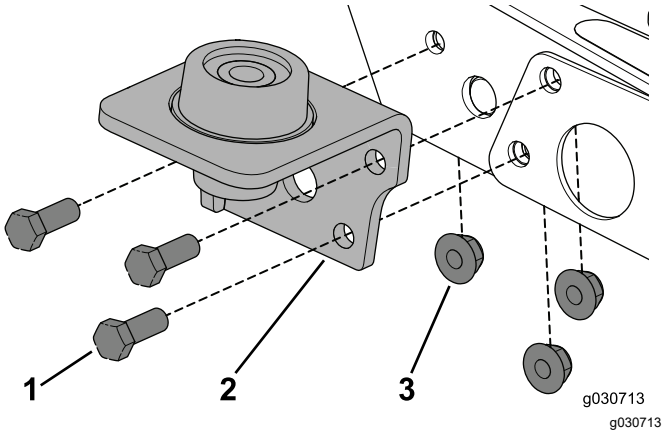


図 18

1. ボルト⅜" x 1"
2. 左マウント
3. フランジナット⅜"

2. ボルトとナットを 37-45 N·m3.7-4.6 kg.m = 27-33 ft-lbにトルク締めする。

右前マウントを取り付ける

1. 既存のボルト類を外し、代わりにボルト⅜ x 1"4本、とフランジナット2個、ロックナット2個を使用して、マウントを機体に固定する図 19。

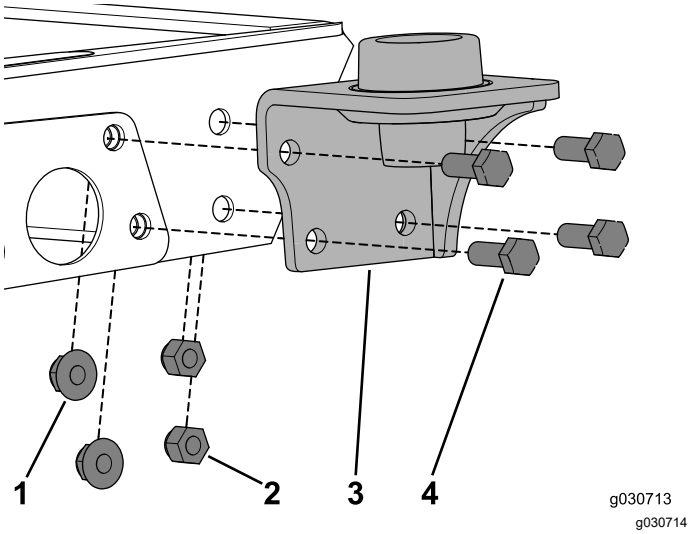


図 19

1. フランジナット⅜"
2. ロックナット
3. 左マウント
4. ボルト⅜" x 1"

2. ボルトとナットを 37-45 N·m3.7-4.6 kg.m = 27-33 ft-lbにトルク締めする。

左後マウントを取り付ける

1. 新しい金具を使って左後マウントをフレームに固定する図 20。

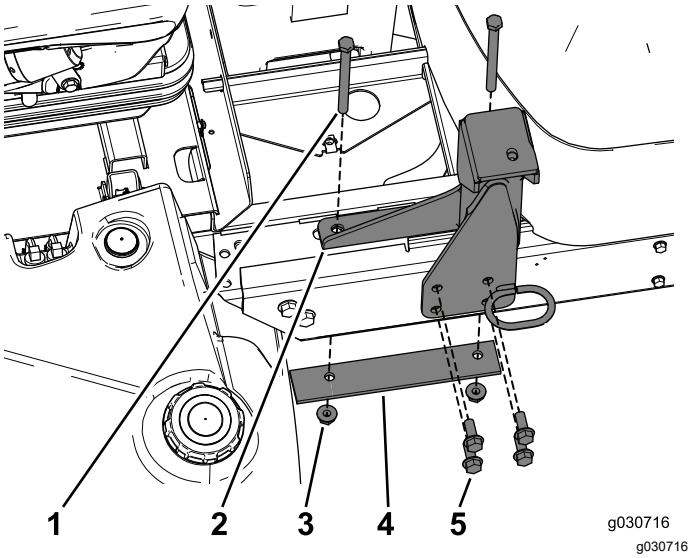


図 20

1. ボルト½ x 6"
2. 左マウント
3. フランジナット
4. 補強プレート
5. ボルト½ x 1¼"

2. ボルト½ x 6"とナットを 91-113 N·m 9.3-11.5 kg.m = 67-83 ft-lb にトルク締めする。
3. ボルト ½ x 1¼"を 91-113 N·m33-40 kg.m = 67-83 ft-lbにトルク締めする。

右後マウントを取り付ける

1. 新しい金具を使って右後マウントをフレームに固定する図 21。

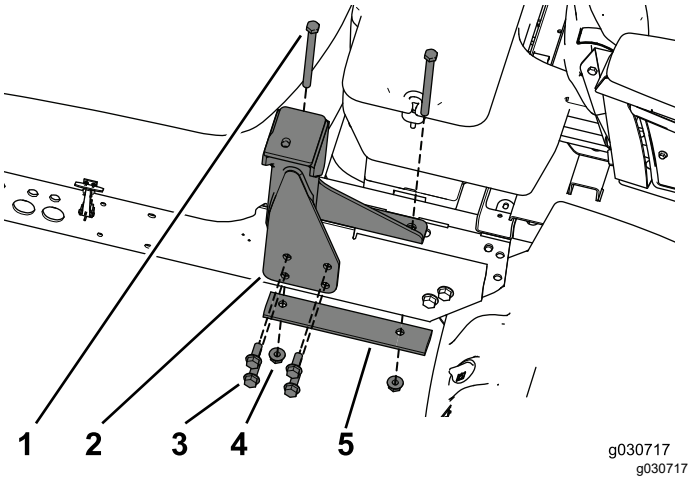


図 21

1. ボルト½ x 6"
2. 右マウント
3. ボルト½ x 1¼"
4. フランジナット
5. 補強プレート

2. ボルト½ x 6"とナットを 91-113 N·m 9.3-11.5 kg.m = 67-83 ft-lb にトルク締めする。
3. ボルト ½ x 1¼"を 91-113 N·m33-40 kg.m = 67-83 ft-lbにトルク締めする。

4. ボルト5/16 x 1½"を使って物入れを機体に固定する図 22。

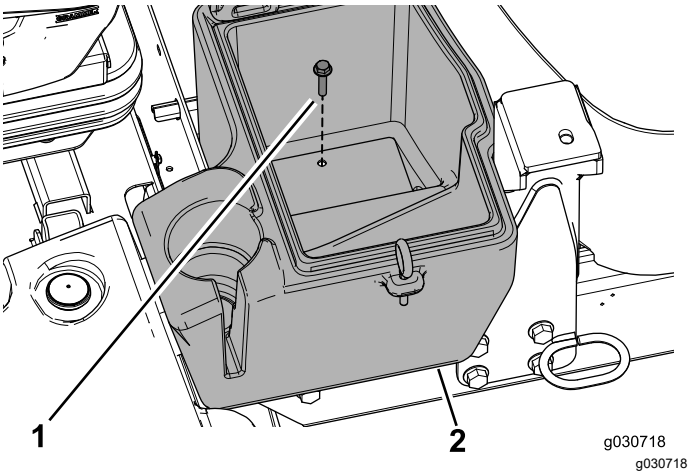


図 22

1. ボルト5/16 x 1½"
2. 物入れ

5. 補強プレートをねじで機体に固定し、バッテリーコンパートメントのクランプとボルト½ x 1"でバッテリーコンパートメントを機体に固定する図 23。

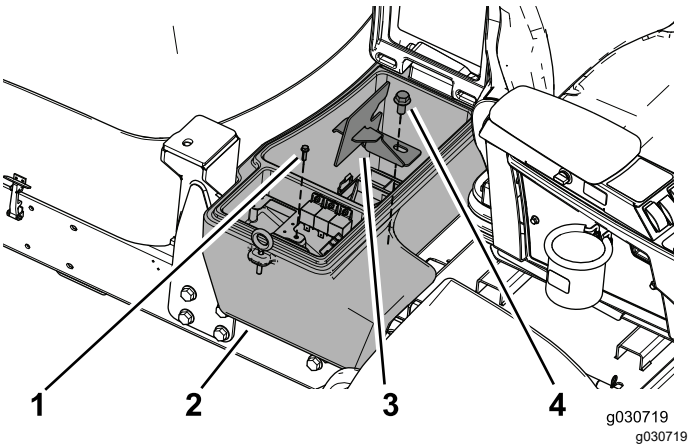


図 23

1. ねじ
2. 電池部
3. バッテリーコンパートメントのクランプ
4. ボルト½ x 1"

ワイヤハーネスを取り付けてキャブの搭載準備を行う

図 24のように、ワイヤハーネスを機体下から引き出してバッテリーボックスに導く。

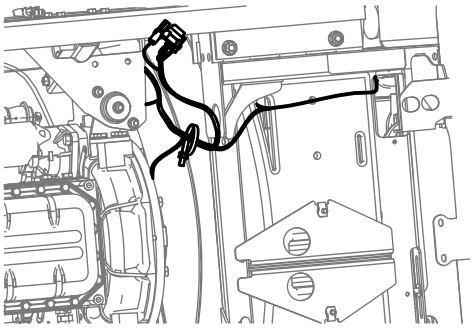
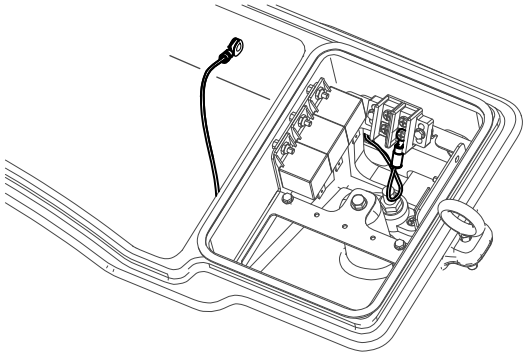


図 24

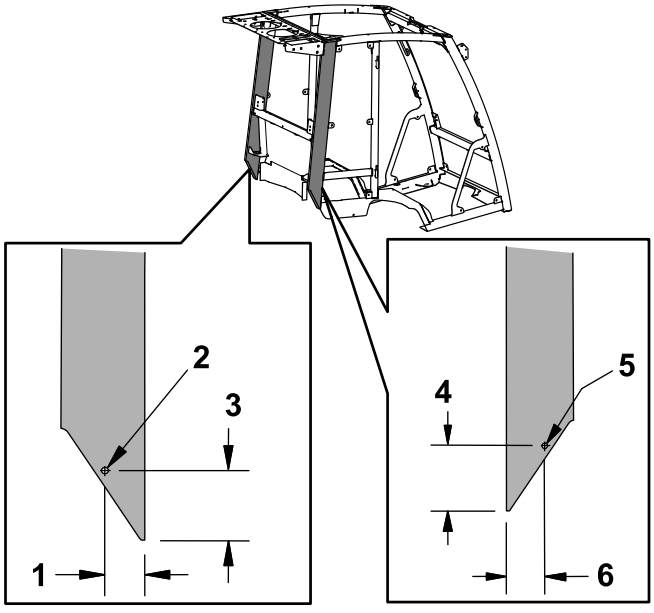
ワイヤハーネスを 図 25のように配置する。



g385502

図 25

図 26 に示す寸法に従って、キャブに穴を開ける。



g032999

図 26

1. 1.93 インチ
2. 穴直径 10.3 mm
3. 85.3 mm
4. 98.3 mm
5. 穴直径 10.3 mm
6. 58.2 mm

5

キャブユニットを機体に取り付ける

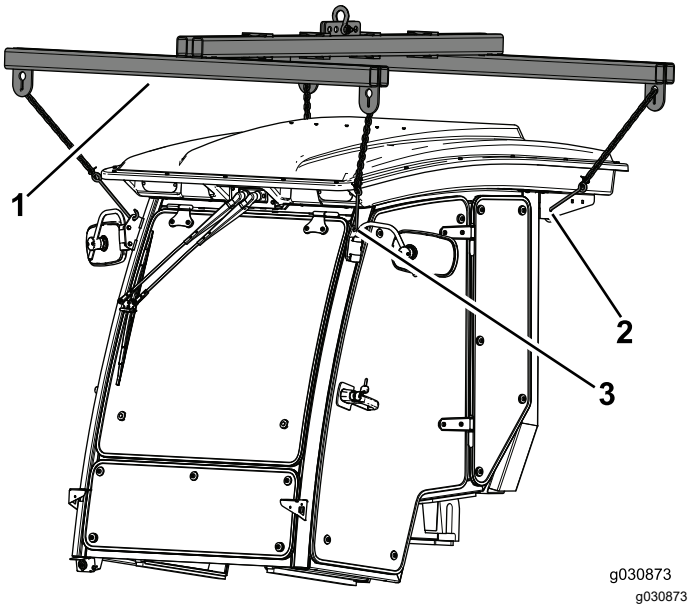
この作業に必要なパーツ

1	キャブ
4	ボルト½ x 3¼"
4	ワッシャ2¼"
2	ワッシャ1⅜"
4	ロックナット½"

手順

1. 吊り上げポイント4ヶ所を使って、キャブを機体の上につるす図 27。

   注 吊り上げ用のバーなどがキャブの屋根やヘッドライナーに接触しないように注意してください。



g030873

図 27

1. ホイストのバー
2. 前部の釣り上げ位置
3. 車体後部の釣り上げ位置

2. マウントのボルト4本に合わせてキャブを降ろす。
3. ボルト½ x 3¼"、ワッシャ直径2¼"、ロックナット½"を使って、キャブを後マウントに固定する図 28。

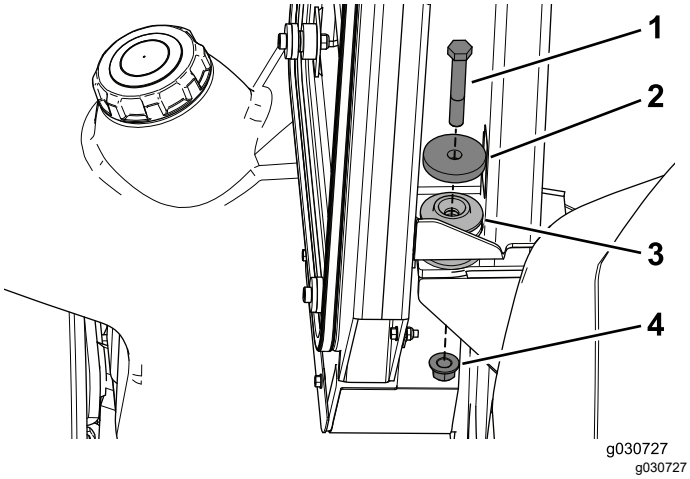


図 28

1. ボルト½ x 3¼"
2. ワッシャ2¼"
3. 後マウント
4. ロックナット½"

4. ボルト½ x 3¾"とロックナット½"を129-156 N·m 13-16 kg.m = 95-115 ft-lbにトルク締めする。

   注 キャブが機体の上に自然にはまるように、吊り上げ装置に多少の余裕を持たせてください。

5. ボルト½ x 3¼"、ワッシャ直径1⅜"、ワッシャ2¼"、ロックナット½"を使って、キャブを前マウントに固定する図 29。

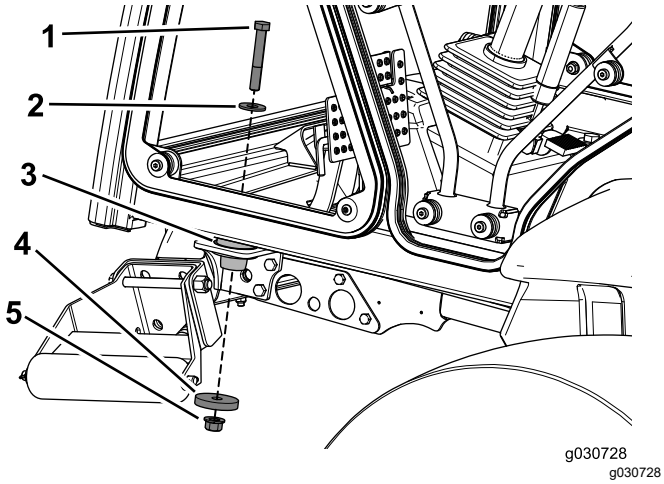


図 29

1. ボルト½ x 3¼"
2. ワッシャ1⅜"
3. 前マウント
4. ワッシャ2¼"
5. ロックナット½"

6. ボルト ½ x 3¼"ロックナット½"を129-156 N·m 13-16 kg.m = 95-115 ft-lbにトルク締めし、吊り上げ装置を外す。

6

パネルとフロアを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	左後部パネルアセンブリ
1	右後部パネルアセンブリ
6	ボルト¼ x ¾"
4	クリップナット
2	フランジナット¼"
1	内装用パネル
1	断熱ブランケット
1	床板

後部パネルアセンブリを取り付ける

1. キャブフレームにクリップナット2個を取り付ける図 30。

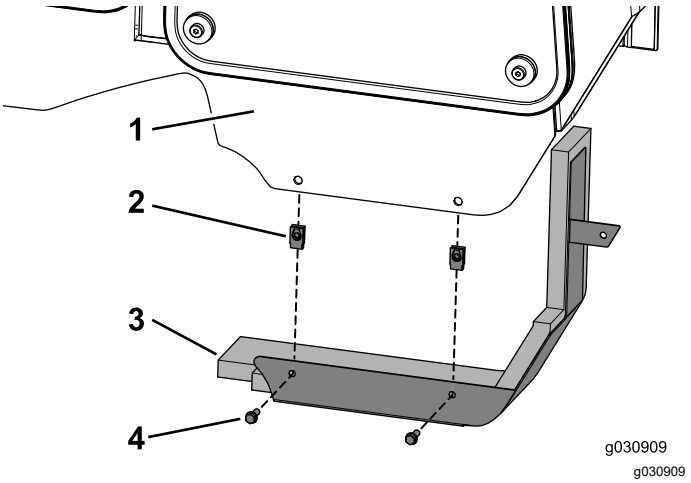


図 30

1. キャブフレーム
2. クリップナット
3. 左後部パネルアセンブリ
4. ボルト¼ x ¾"

2. パネルアセンブリをキャブに固定するボルト¼ x ¾"2本を使用し図 30に示すように取り付ける。
3. ボルト¼ x ¾とフランジナット¼"を使って、パネルアセンブリの組み付けを終わらせる図 31。

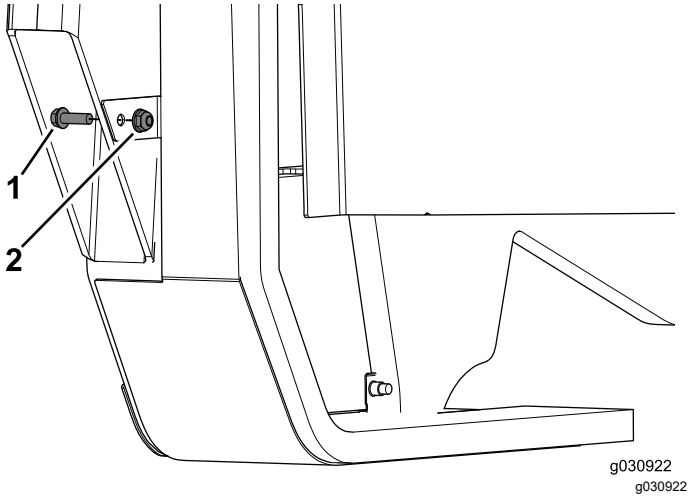


図 31

1. ボルト¼ x ¾"
2. フランジナット

4. ボルトとナットを10-12 N·m1.0-1.3 kg.m = 90-110 in-lbにトルク締めする。
5. キャブの右側についても上記と同じ作業を行う。

後パネルを取り付ける

1. 取り付け部が汚れていないのを確認する。
2. 内装パネルを、キャブ内部のバックパネルの中央に合わせて、取付位置を確認する図 32。

   注 キャブのバックパネルの中央に内装パネルを合わせた時に、内装パネルのコーナーの始まり部分を記憶またはマーキングしておくようにしてください。

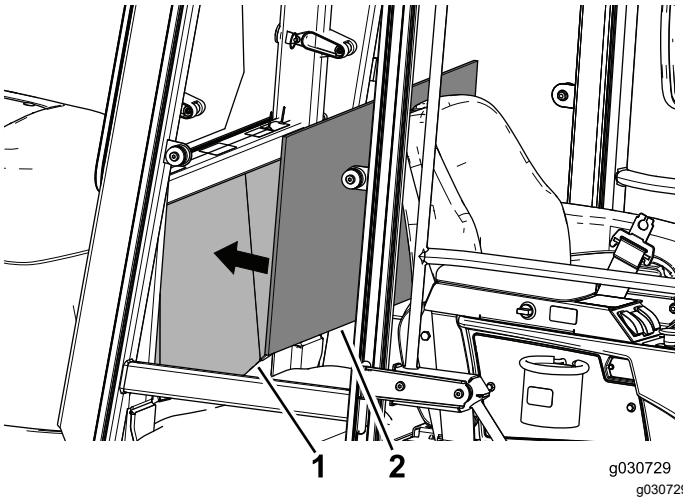


図 32

1. キャブ
2. 内装用パネル

3. 裏紙を一枚一部だけはがす。
4. 内装パネルの上側コーナー部から開始して、内装パネルがキャブ後部の中央になるように張り付ける。
5. パネルの裏紙は1セクションずつはがし、端から端まで貼り付け、これを繰り返して全体を貼り付ける。

断熱ブランケットを取り付ける

1. 出荷用チューブから断熱ブランケットを取り出す。

   注 ブランケットは、取り付け位置にセットするまで広げないでください。
2. 運転席後方の物入れスペースにブランケットをセットする。
3. 機体前方に向かってブランケットを広げながら、ヘリの部分を運転席の周囲に巻き込んでいく。
4. ブランケットの端の部分にあるマジックテープの裏紙をはがしてマジックテープを貼り付ける。

   注 マジックテープを貼り付ける部分運転台の床が十分にきれいであることを確認してください。
5. マジックテープを床面にしっかりと貼り付ける。

床板を取り付ける

1. 取り付け部が汚れていないのを確認する。
2. キャブ内部のプラットフォーム部にフロアトレッドを取り付ける。

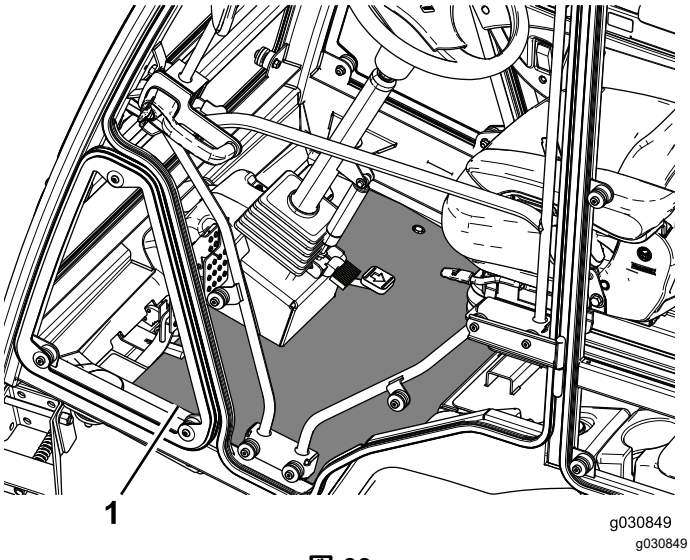


図 33

1. 床板

3. プラットフォームのボルトの頭がフロアトレッドの切込みに入っていることを確認する。

7

ホースを接続する

この作業に必要なパーツ

2	フィッティング⅜ NPT x 0.625 バーブ
2	ホースクランプ
1	90度フィッティング¾"
1	90度フィッティング⅞"
2	R クランプ

ヒーター用ホースの接続を行う

1. フィッティング⅜ NPT x 0.625 バーブにシーラントを巻き付ける最初のねじ山には巻かないこと。
2. エンジン側からきているヒータ用行きと戻りホースのプラグを外して、図 34に示すようにフィッティング⅜ NPT x 0.625 バーブを取り付ける。

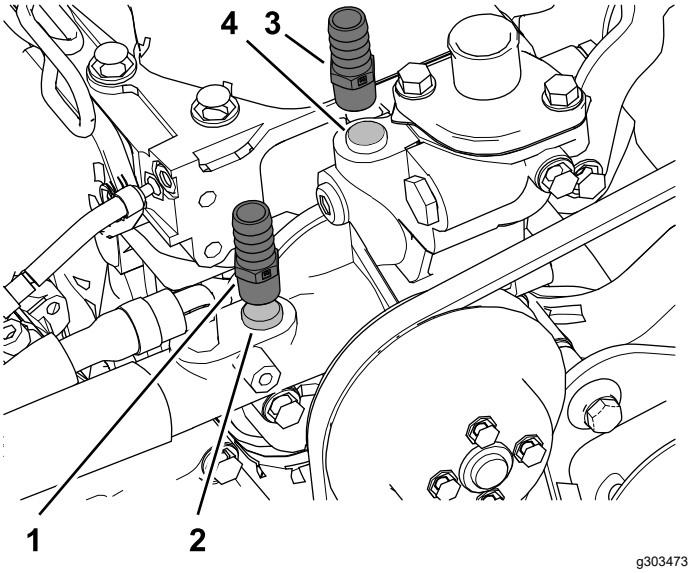


図 34

1. フィッティング⅜ NPT x 0.625 バーブ
2. 戻り側ホースのプラグ
3. フィッティング⅜ NPT x 0.625 バーブ
4. 供給側ホースのプラグ

3. フィッティング⅜ NPT x 0.625 バーブをエンジンに指締め状態にしたら、そこから23回転締め付ける。
4. ヒーター用とドレン用のホースを、後キャブマウントのホース用リングに通す図 35。

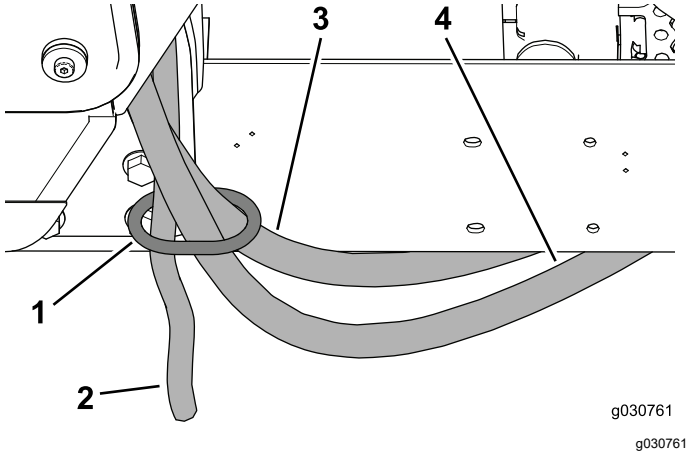


図 35

1. ホース用リング
2. ドレンホース
3. ヒーターホース
4. ドレンホース

5. 供給側ホースにクランプを通し、このホースを図 36に示すようにフィッティング⅜ NPT x 0.625 バーブに接続する。

   注 供給側ホースは、アセンブリの片方の先端部に赤いプラグがついているホースです。ホースを取り付ける前にプラグを外してください。

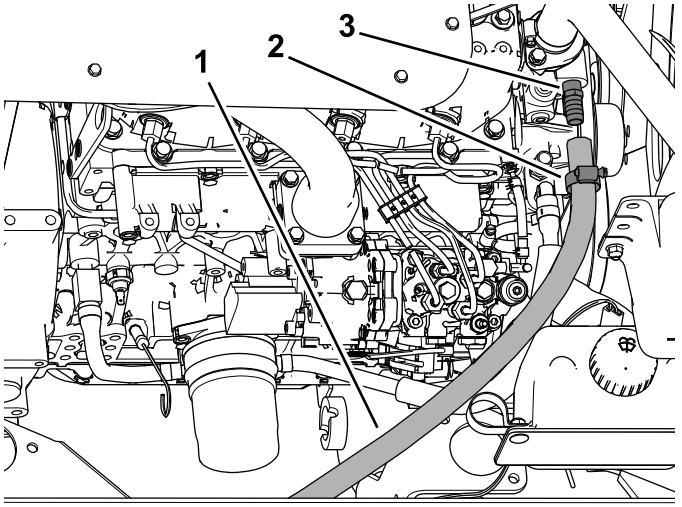


図 36

1. ヒーター用供給側ホース
2. ホースクランプ
3. バーブフィッティング

6. 戻り側ホースにクランプを通し、このホースを図 37に示すようにフィッティング⅜ NPT x 0.625 バーブに接続する。

   注 戻り側ホースは、先端部に緑色のプラグがついているホースです。ホースを取り付ける前にプラグを外してください。

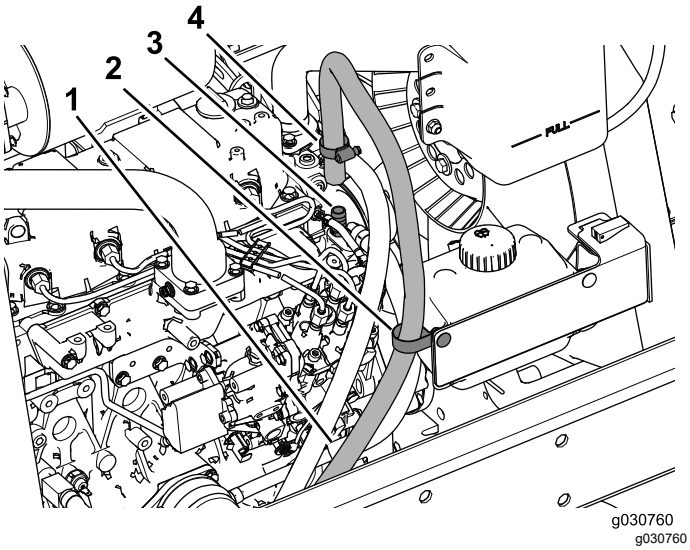


図 37

1. ヒーター用戻り側ホース
2. R クランプ
3. バーブフィッティング
4. ホースクランプ

エアコン用フィッティングを取り付ける

注 フィッティングを取り付ける前に、O リングに PAG Oil 46 または同等品をたっぷり塗りつけてください。

1. 排気管、マフラーブラケット、エンジン冷却ファンを外す図 38。

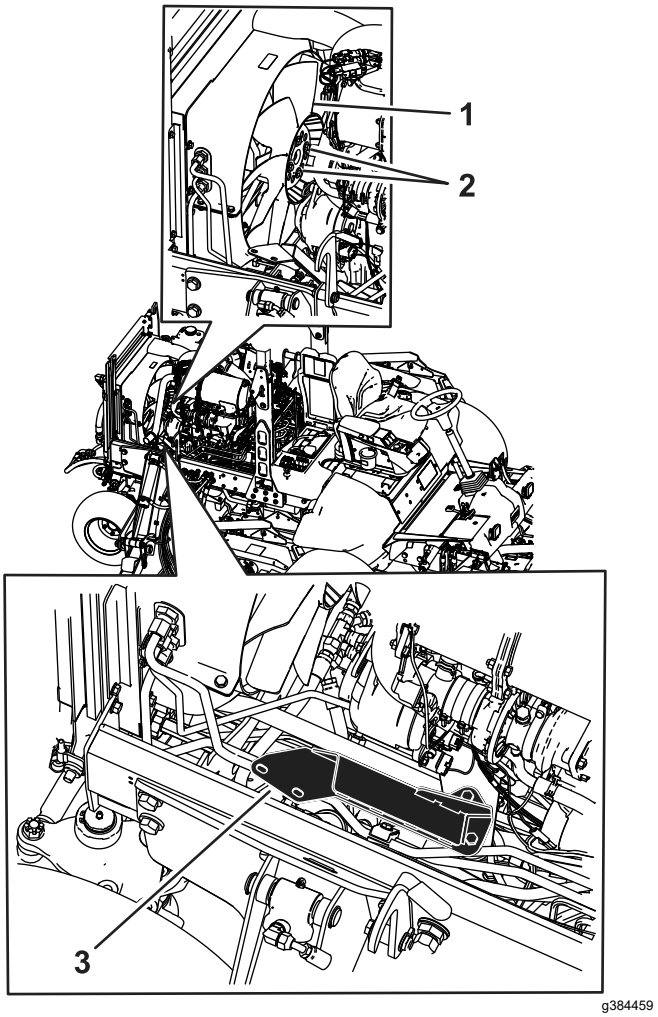


図 38

1. エンジンファン
2. ファンボルト
3. マフラーブラケット

2. エアコン用ポンプの低圧側吸入側ポートに90度フィッティング⅞"と O リング サイズ 8を取り付ける図 39。

   注 フィッティングは図 40と図 41に示すような角度で取り付けてください。

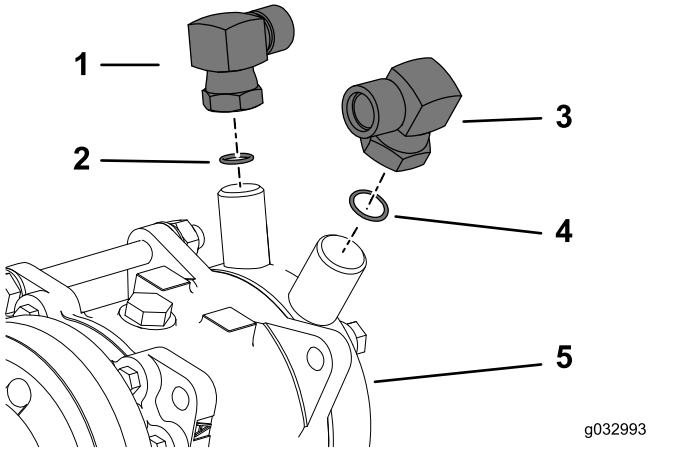


図 39

1. 90度フィッティング¾"
2. Oリング サイズ8
3. 90度フィッティング⅞"
4. Oリング サイズ10
5. エアコン用ポンプ

3. フィッティングを34-47 N·m3.5-4.8 kg.m = 25-35 ft-lbにトルク締めする。
4. エアコン用ポンプの高圧側吐出側ポートに90度フィッティング¾"とOリング サイズ 10を取り付ける図 39。
5. フィッティングを34-47 N·m3.5-4.8 kg.m = 25-35 ft-lbにトルク締めする。
6. エアコンディショナキットモデル No. 30877の取り付け要領書の説明に従ってコンプレッサをマシンに取り付けて固定する。
7. エンジン冷却ファン、マフラーブラケット、排気管を取り付ける図 38。

エアコン用ホースを接続する

1. キャブユニットからのエアコン用低圧ホース⅞"を、図 40に示すように90度フィッティング⅞"に接続する。

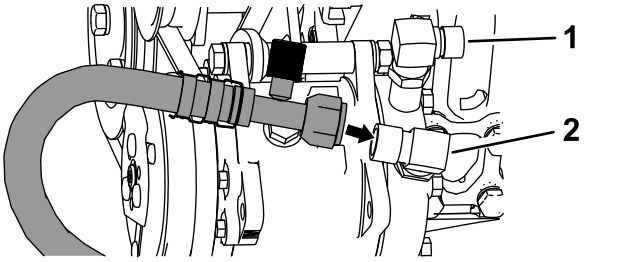


図 40

1. 90度フィッティング¾ インチ
2. 90度フィッティング⅞ インチ

2. フィッティングを34-47 N·m3.5-4.8 kg.m = 25-35 ft-lbにトルク締めする。
3. キャブユニットからのエアコン用高圧ホース¾"を、図 41に示すように90度フィッティング¾"に接続する。

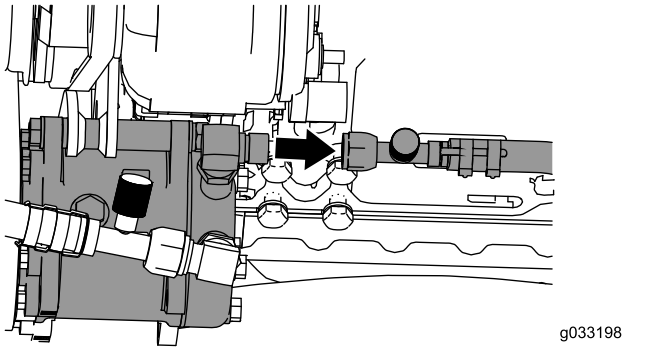


図 41

4. フィッティングを34-47 N·m3.5-4.8 kg.m = 25-35 ft-lbにトルク締めする。
5. エアコン用ホースそれぞれにRクランプ1個を通し、既存のボルト2本で各クランプを機体フレームに固定する図 42。

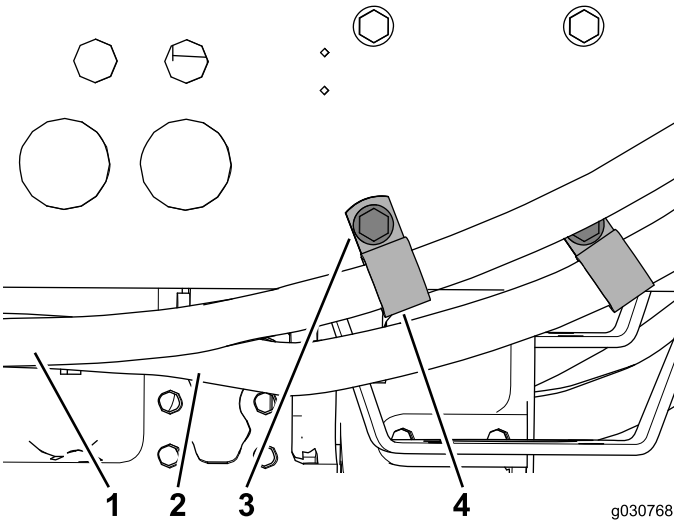


図 42

1. 高圧側ホース
2. 低圧側ホース
3. ボルト5/16 x 1"
4. R クランプ

8

ウオッシャー液タンクを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ウォッシャー液タンク
1	タンク用マウント
1	タンクプレート
4	キャリッジボルト5/16 x ¾"
4	フランジナット5/16"
1	スエルラッチ
1	スエルラッチ用ブッシュ
1	スエルラッチ用ナット
1	R クランプ

ウオッシャー液タンクとマウントを取り付ける

1. キャリッジボルト5/16 x ¾"2本 とフランジナット5/16"2個を使って、タンクプレートを冷却液ボトルサポートに固定する図 43。

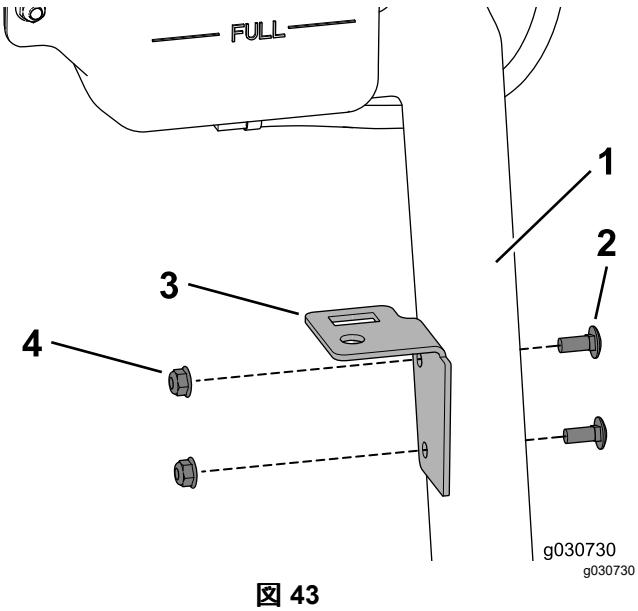


図 43

1. 冷却液ボトルサポート
2. キャリッジボルト5/16" x ¾"
3. タンクプレート
4. フランジナット

2. ボルトとナットを19.78-25.42 N·m2.0-2.6 kg.m = 175-225 in-lbにトルク締めする。

3. キャリッジボルト5/16 x ¾"2本とフランジナット5/16"を使って、ウォッシャ液ボトルとRクランプをタンクマウントに固定する図 44。

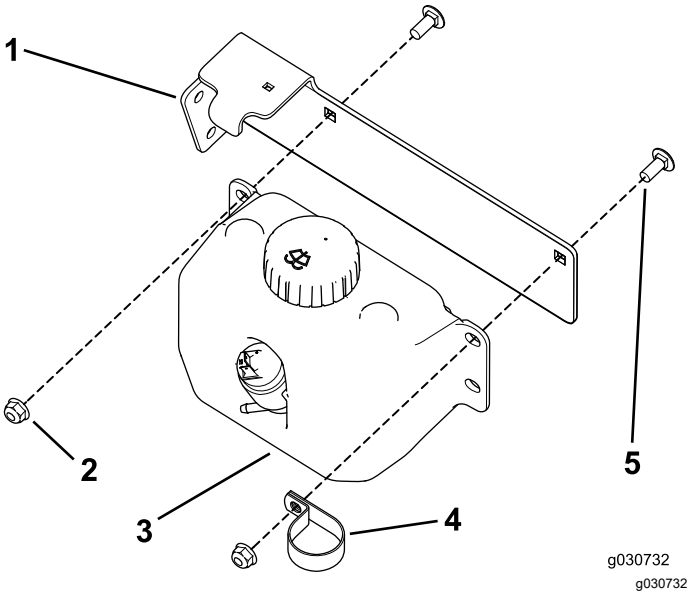


図 44

1. タンク用マウント
2. フランジナット5/16"
3. ウォッシャー液ボトル
4. R クランプ
5. キャリッジボルト5/16" x ¾"

4. タンクマウントにスエルラッチアセンブリを取り付ける図 45。

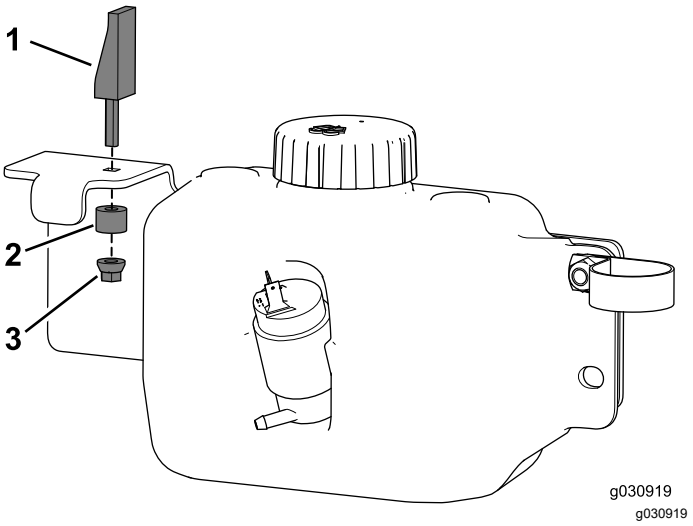


図 45

1. スエルラッチ
2. スエルラッチ用ブッシュ
3. スエルラッチ用ナット

5. スロットにタブを入れ、スエルラッチ用ブッシュをタンクプレートの穴に入れる図 46。

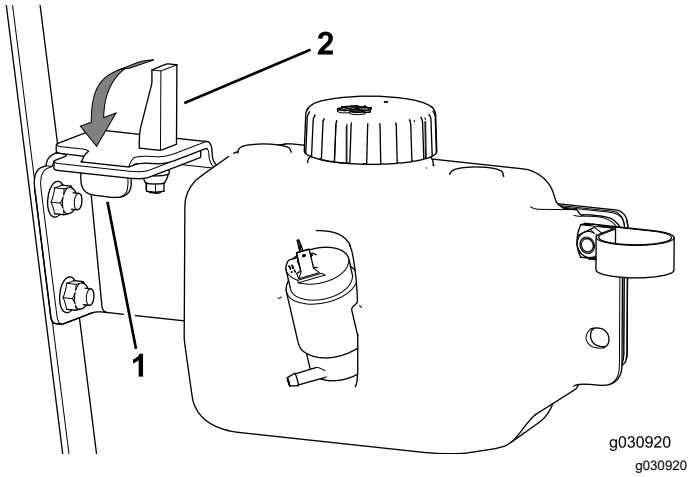


図 46

1. スエルラッチ
2. タンク用マウント

6. スエルラッチを倒す図 46。

   注 これにより、スエルラッチがタンクマウントをタンクプレートに強く押さえつけます。スエルラッチの押さえ力はナットで調整してください。

ウォッシャー用ホースを接続する

1. ウォッシャー用のホースを、後キャブマウントのホース用リングに通す図 47。

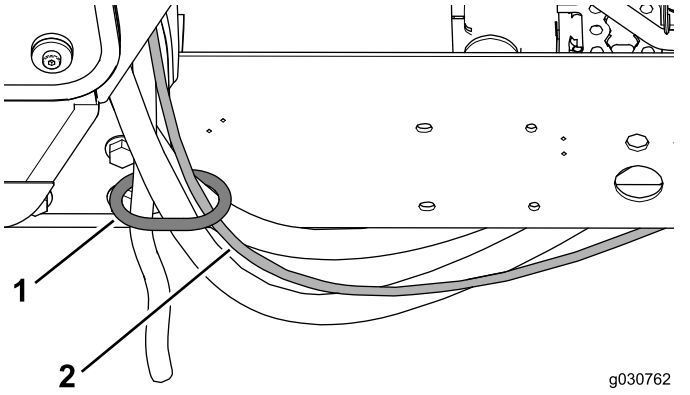


図 47

1. ホース用リング
2. ウォッシャー用ホース

2. ウォッシャー用ホースをRクランプに通し、ウォッシャーボトルに接続する図 48。

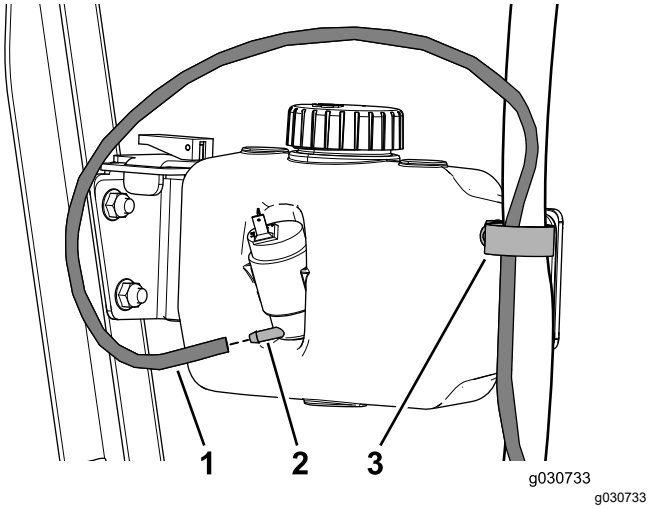


図 48

1. ウォッシャー用ホース
2. ボトルとの接続箇所
3. R クランプ

9 ワイヤハーネスを接続する

この作業に必要なパーツ

5	ケーブルタイ

手順

1. キャブから出ているワイヤハーネスを、機体右側にあるワイヤハーネスに接続する図 49。

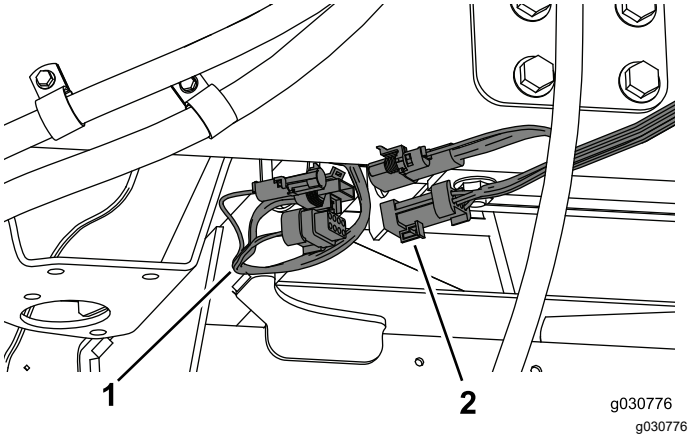


図 49

1. 車両側のワイヤハーネス
2. キャブ側のワイヤハーネス

2. キャブから出ている電源コネクタ、機体右側にあるコネクタに接続する図 50。

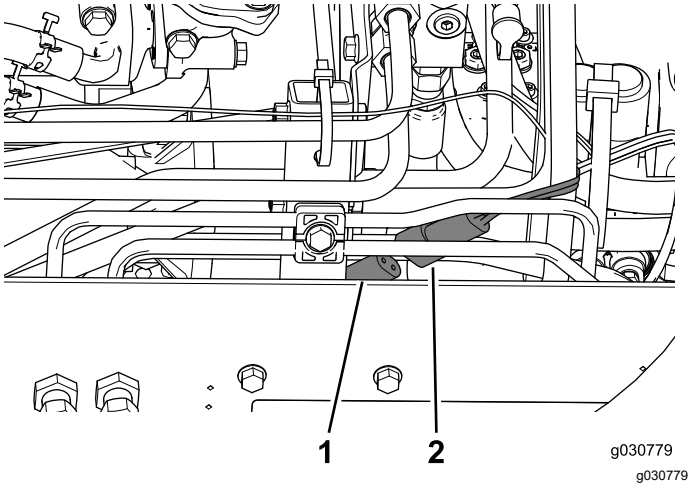


図 50

1. 車両側のコネクタ
2. キャブ側のコネクタ

3. エアコン用コンプレッサから出ている電線をワイヤハーネスのコネクタに接続する図 51。

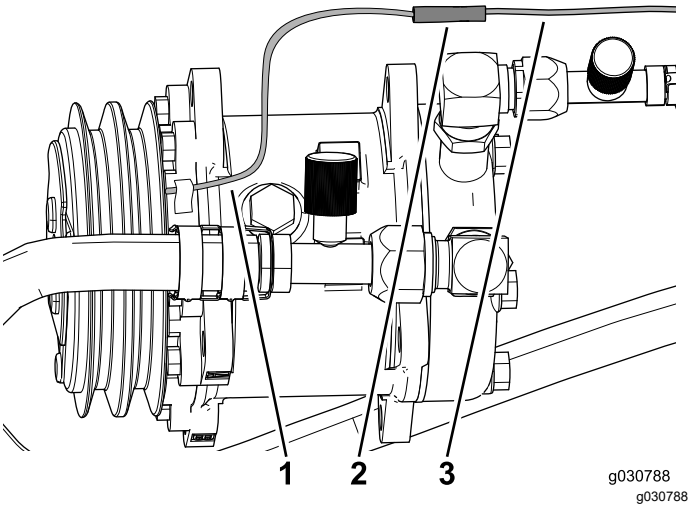


図 51

1. コンプレッサからの電線
2. コネクタ
3. ワイヤハーネス

4. ウォッシャーボトル用ワイヤハーネスをRクランプに通し、ボトルに接続する図 52。

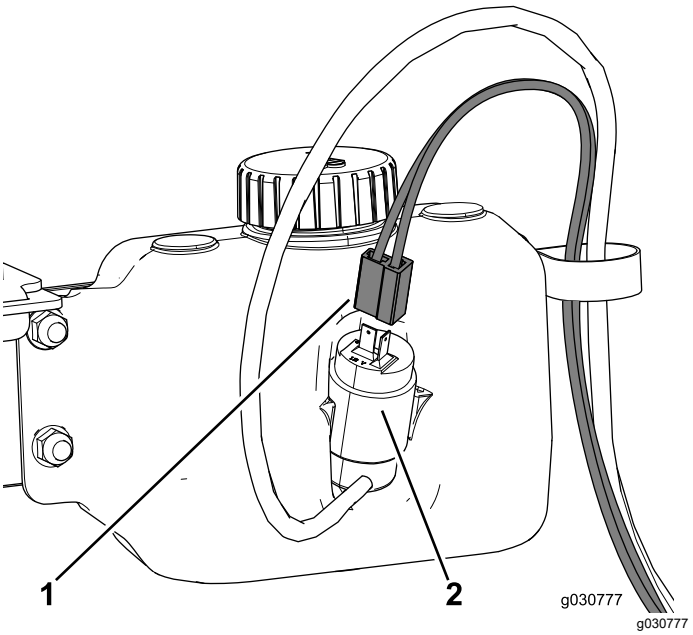


図 52

1. ワイヤハーネスのコネクタ
2. ウォッシャー液ボトルとの接続

5. ケーブルタイを使用して、図 53および図 54に示すようにワイヤハーネスを油圧ホースと油圧ラインに固定する。

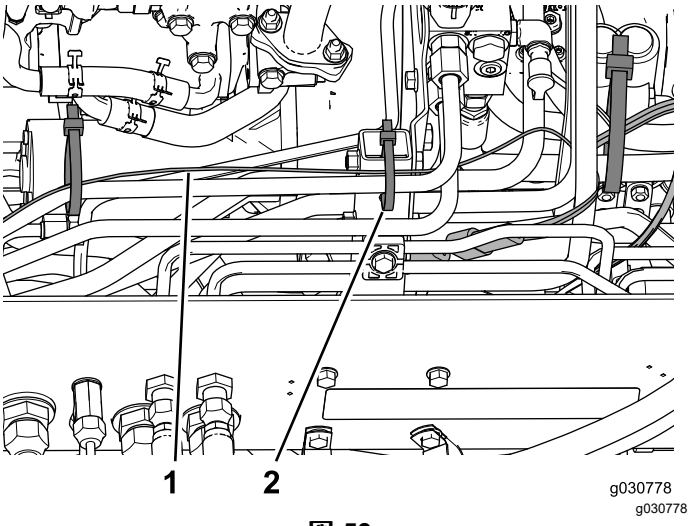


図 53

1. ワイヤハーネス
2. ケーブルタイ

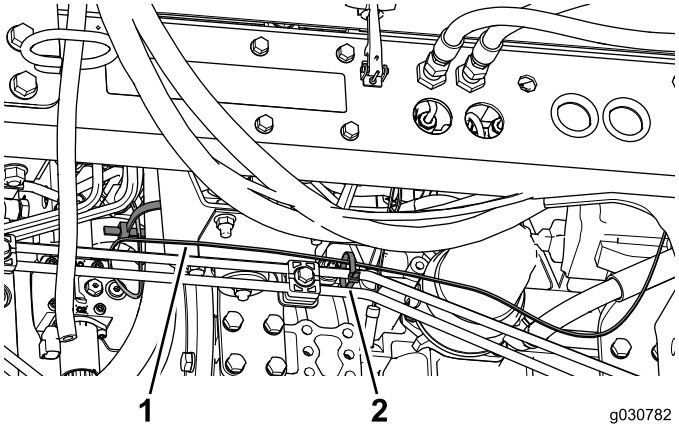


図 54

1. ワイヤハーネス
2. ケーブルタイ

重要 **可動部や高温部分にはハーネスを固定しないでください。**

10

安全ステッカーを貼り付ける

この作業に必要なパーツ

1	安全ステッカー

手順

以下の作業は、地域の法律等で義務付けられている場合に行います。

後窓に安全デカルを図 55に示すように貼り付ける。

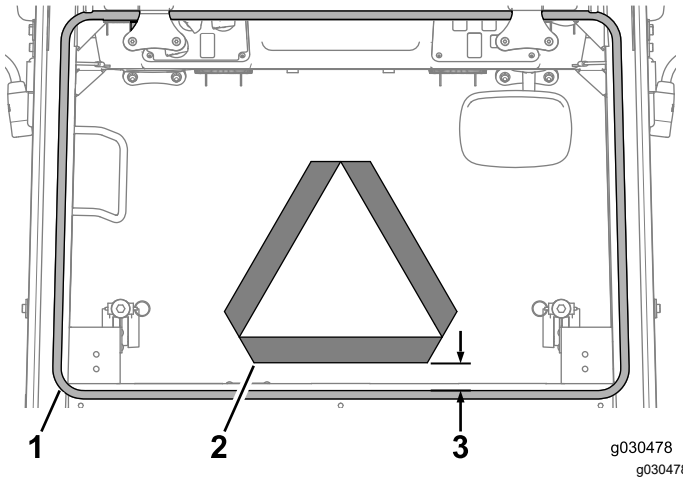


図 55

1. 窓用シール
2. 安全ステッカー
3. 25 mm

11

組み立てを完了する

必要なパーツはありません。

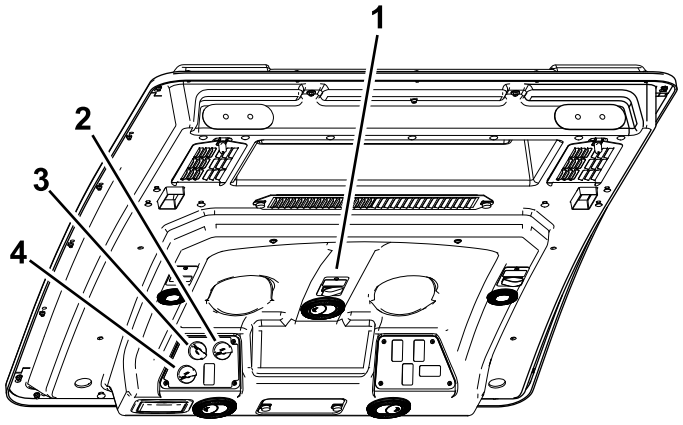
手順

1. ラジエターに冷却液を入れる *サービスマニュアル*を参照。
2. 液漏れがないか点検する。
3. パーツ同士の干渉がないか確認し、有れば必ず修正する。
4. 助手を使ってバックミラーとサイドミラーの位置を調節する。
5. 車輪の輪留めを外す。
6. バッテリーの取り外し (ページ 4)で外したバッテリーを取り付ける。
7. バッテリーのプラス+端子にプラスケーブル赤を接続する。
8. バッテリーのマイナス-端子にマイナスケーブル黒を接続する。
9. 各コントロール装置が適切に作動するかどうか確認する。
10. ウオッシャー液ボトルにウォッシャー液を入れる。
11. エアコンのチャージ作業は、有資格者が行ってください
    - PAG 46 オイル90cc
    - R134A フレオン1650cc
12. 以下の仕様に合わせてタイヤ空気圧を調整する
    - 前タイヤ207 kPa1.4 kg/cm2 = 30 psi
    - 後タイヤ152 kPa2.0 kg/cm2 = 22 psi

製品の概要

各部の名称と操作

キャブ関係の制御装置



g032995
g032995

図 56

1. ワイパースイッチ
2. 温度コントロール
3. ファンコントロール
4. 空気循環コントロール

ワイパースイッチ

ワイパーのON/OFFを行います 図 56。

温度コントロール

ノブを回してキャブ内の温度を調整します図 56。

ファンコントロール

ノブを回してファンの回転速度を調整します図 56。

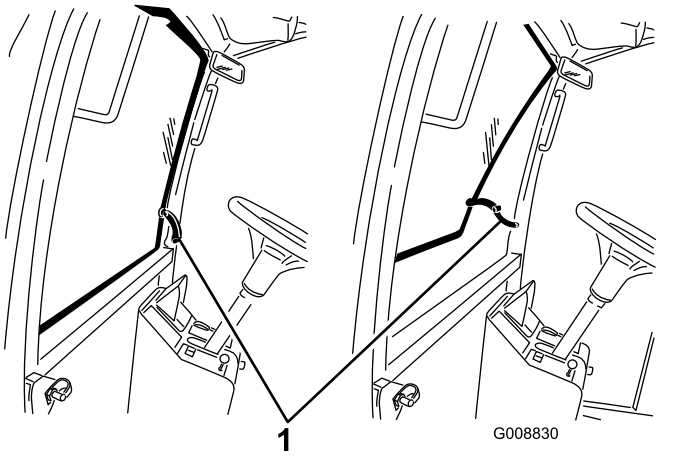
空気循環コントロール

室内空気循環モードと外気導入モードの切り替えを行うスイッチです 図 56。

- エアコンを使用する場合は室内空気循環にセットしてください。
- ヒーターやファンを使用する場合は外気導入にセットしてください。

前窓用ラッチ

ラッチを上に開くと窓を開けることができます図 57。ラッチを押し込むように開くと窓を開いた状態で固定できます。閉じる時にはラッチを引き出して下げてください。



g008830

図 57

1. 前窓用ラッチ

後窓用ラッチ

このラッチを上に開くと後の窓を開けることができます。ラッチを引き上げると窓を開いた状態で固定できます。閉じる時にはラッチを引き出して下げてください図 57。

重要 **フードを開ける時には、フードが後窓にぶつからないように後窓を閉めてください。**

保守

推奨される定期整備作業

整備間隔	整備手順
250運転時間ごと	· フィルタを清掃する。破れている場合や汚れがひどい場合は交換する。 · エアコンアセンブリを清掃する（悪条件下ではより頻繁に）。

洗浄

⚠ 注意

始動キーをつけたままにしておくと、誰でもいつでもエンジンを始動させることができ、危険である。

整備を行う前には、エンジンを止め、キーを抜き取ること。

Cabキャブの清掃

重要 **キャブのシール部分とライト部分に注意してください図 58。圧力洗浄機を使用する場合は、洗浄機のノズルをキャブから少なくとも 60cm 離して洗浄してください。キャブのシール部分、ライト、後部のオーバーハングに高圧洗浄機の水を直接吹き付けないでください。**

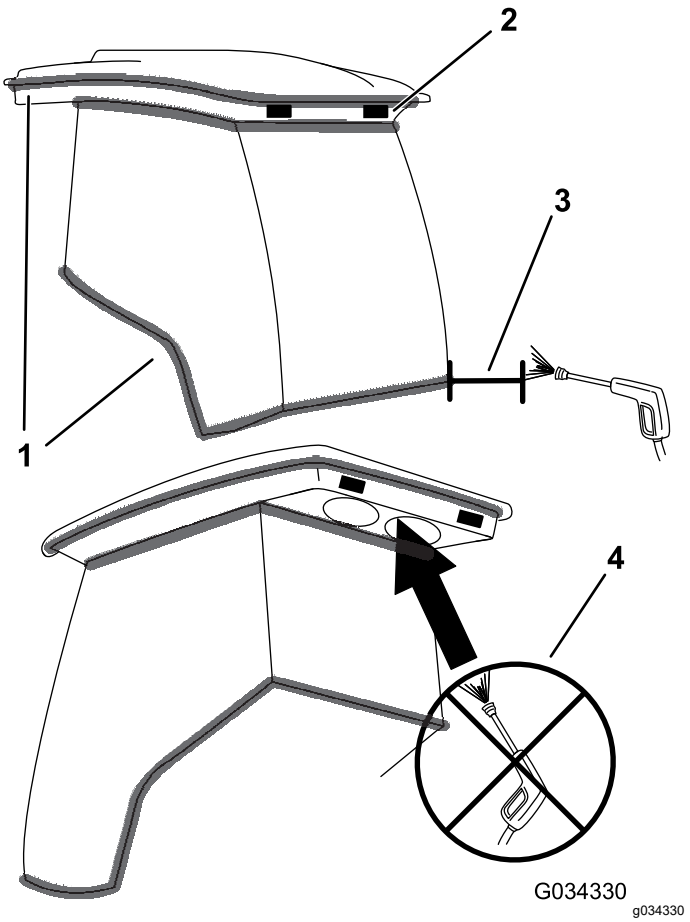


図 58

1. シール
2. ライト
3. 洗浄機のノズルを 60cm 以上離してください。
4. 後部のオーバーハング部には高圧洗浄器を使用しないでください。

キャブのエアフィルタの清掃

整備間隔: 250運転時間ごと

1. 室内用と後部用のエアフィルタからねじを外して格子を外す図 59と図 60。

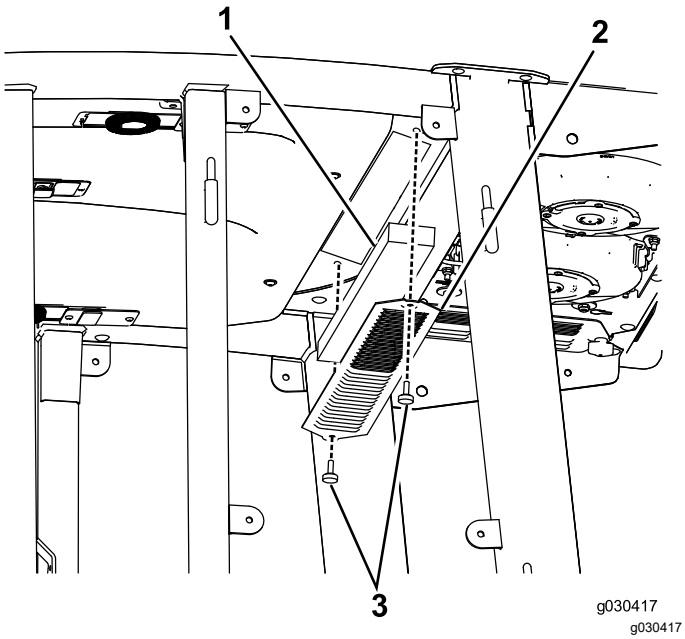


図 59
キャブ内エアフィルタ

1. フィルタ
2. 格子
3. ねじ

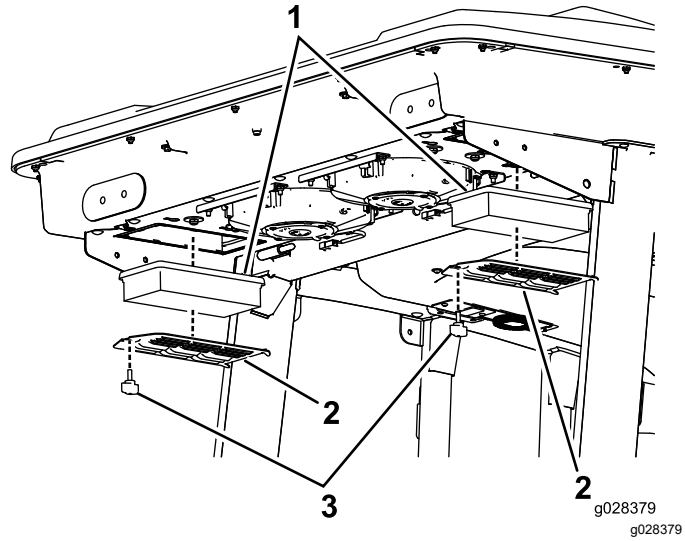


図 60
キャブ後部エアフィルタ

1. フィルタ
2. 格子
3. ねじ

2. フィルタをエアで吹いて清掃するオイル分を含まないエアで清掃すること。

   重要 **破れている場合や汚れがひどい場合はフィルタを交換する。**

3. フィルタと格子を取り付け、つまみねじで元通りに固定する。

キャブのプレフィルタの清掃

キャブについているプレフィルタは、刈りかすや木の葉などの大きな異物をフィルタに入れないためのものです。

1. スクリーンカバーを開ける。
2. フィルタを水で洗浄する。

   注 高圧洗浄機を使わないでください。

   重要 **破れている場合や汚れがひどい場合はフィルタを交換する。**

3. プレフィルタが十分に乾いてから元通りに取り付ける。
4. フィルタスクリーンを回転させてラッチをラッチ取り付けアセンブリにロックする図 61。

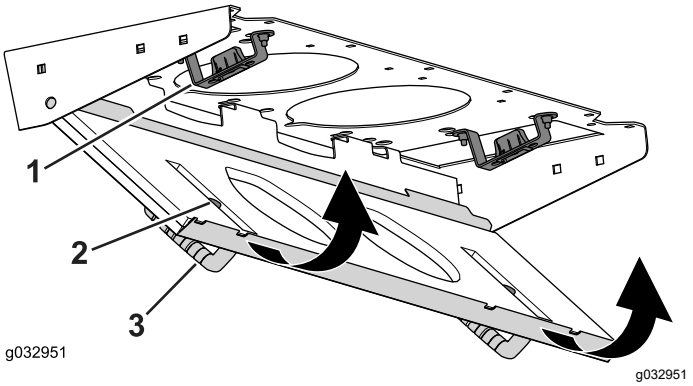


図 61

1. ラッチ取り付けアセンブリ
2. ラッチ
3. スクリーンカバー

エアコンアセンブリの清掃

整備間隔: 250運転時間ごと 悪条件下ではより頻繁に。

1. エンジンを止め、キーを抜き取る。
2. 各ファンの配線を外す図 62。

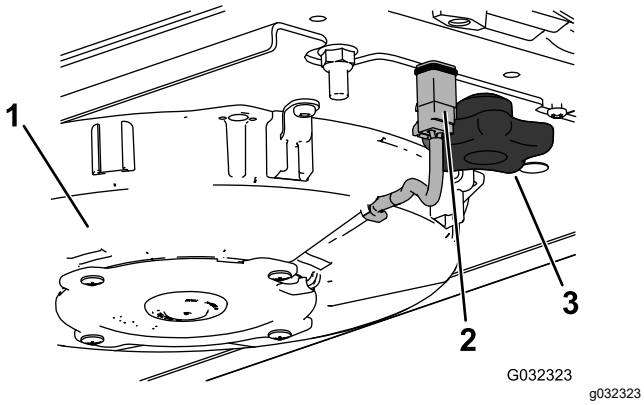


図 62
図は右側ファン

1. ファン
2. 電気コード
3. ノブ

---

3. ノブ2個を外してファンアセンブリを取り外す図 62。
4. エアコンアセンブリのラッチ4個を外してスクリーンを取り外す図 63。

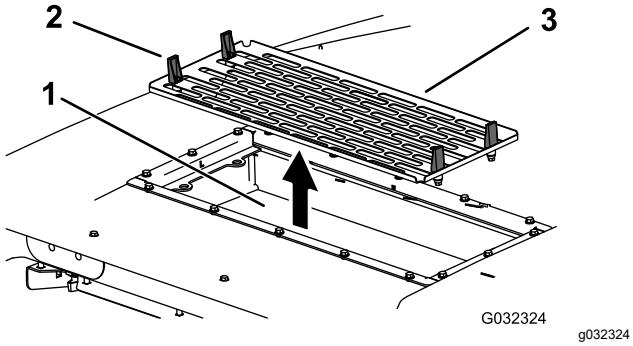


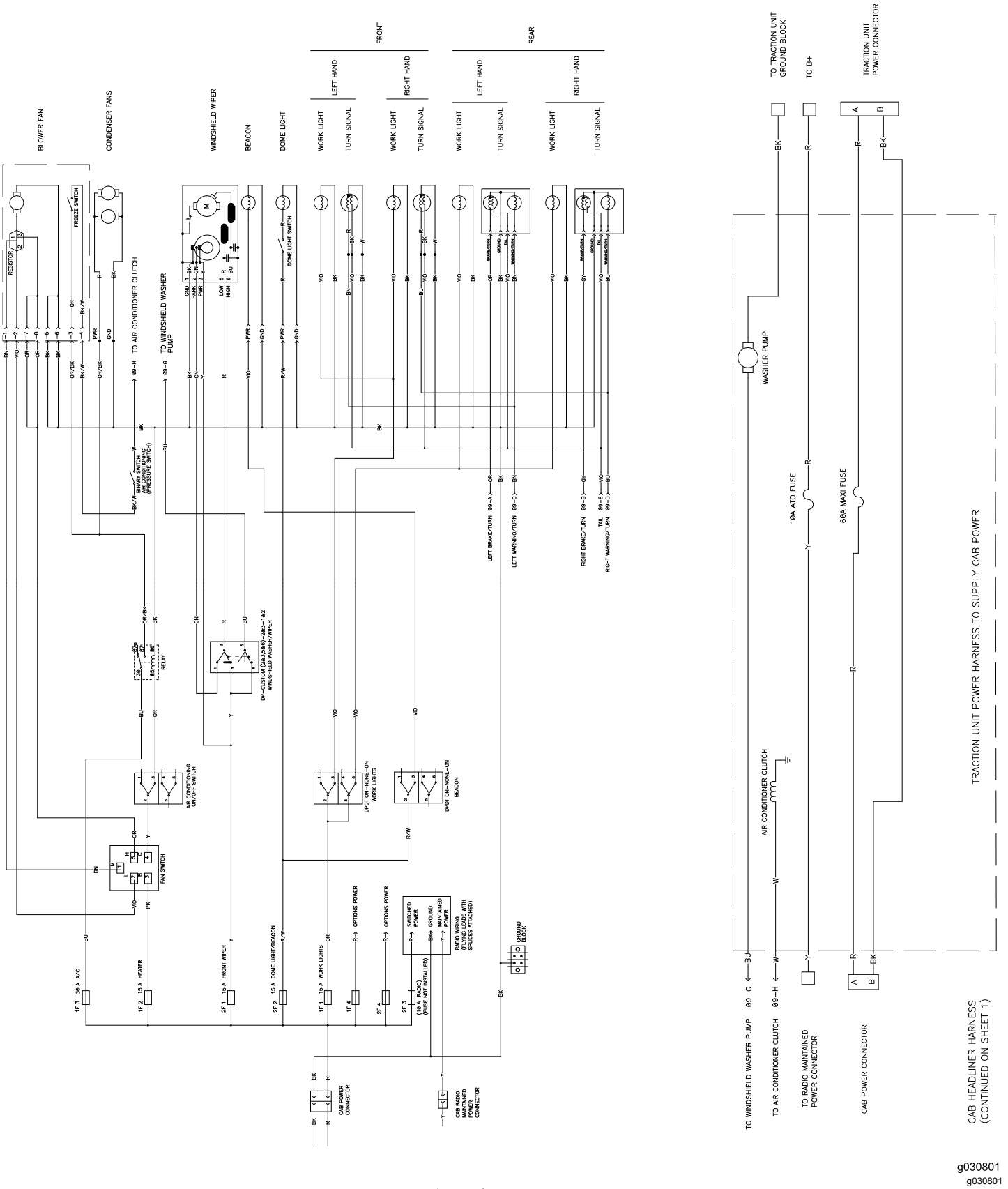
図 63

1. エアコンのコイル
2. ラッチ
3. エアコンのスクリーン

---

5. エアフィルタを取り外す 図 60。
6. エアコンアセンブリを清掃する
7. エアフィルタ、スクリーン、ファンアセンブリを取り付ける図 60、図 63、図 62。
8. 各ファンの配線を元通りに接続する図 62。

図面



電気回路図 (Rev. A)

メモ

欧州におけるプライバシー保護に関するお知らせ

トロが収集する情報について
トロ・ワランティー・カンパニートロは、あなたのプライバシーを尊重します。この製品について保証要求が出された場合や、製品のリコールが行われた場合にあなたに連絡することができるように、トロと直接、またはトロの代理店を通じて、あなたの個人情報の一部をトロに提供していただくようお願いいたします。

トロの製品保証システムは、米国内に設置されたサーバーに情報を保存するため、個人情報の保護についてあなたの国とまったく同じ内容の法律が適用されるとは限りません。

あなたがご自分の個人情報を提供なさることにより、あなたは、その情報がこの「お知らせ」に記載された内容に従って処理されることに同意したことになります。

トロによる情報の利用
トロでは、製品保証のための処理ならびに製品にリコールが発生した場合など、あなたに連絡をすることが必要になった場合のために、あなたの個人情報を利用します。また、トロが上記の業務を遂行するために必要となる活動のために、弊社の提携会社、代理店などのビジネスパートナーに情報を開示する場合があります。弊社があなたの個人情報を他社に販売することはありません。ただし、法の定めによって政府や規制当局からこれらの情報の開示を求められた場合には、かかる法規制に従い、また弊社ならびに他のユーザー様を保護する目的のために情報開示を行う権利を留保します。

あなたの個人情報の保管について
トロでは、情報収集の当初の目的を遂行するのに必要な期間にわたって、また法に照らして必要な期間法律によって保存期間が決められている場合などにわたって情報の保管を行います。

弊社はあなたの個人情報の流出を防ぎます
トロは、あなたの個人情報の保護のために妥当な措置を講ずることをお約束します。また、情報が常に最新の状態に維持されるよう必要な手段を講じます。

あなたの個人情報を訂正したい場合などのアクセス方法
ご自身の個人情報を確認・訂正されたい場合には、legal@toro.com へ電子メールをお送りください。

オーストラリアにおける消費者保護法について

オーストラリアのお客様には、梱包内部に資料を同梱しているほか、弊社代理店にても法律に関する資料をご用意しております。

Toro 製品保証

2 年間または 1,500 時間限定保証

保証条件および保証製品

Toro 社は、Toro 社の製品以下「製品」と呼びますの材質上または製造上の欠陥に対して、2 年間または 1,500 運転時間のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証はエアレータを除くすべての製品に適用されますエアレータに関する保証については該当製品の保証書をご覧下さい。この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「製品」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「製品」が納品された時点から有効となります。
*アワーメータを装備している機器に対して適用します。

保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われた場合には、「製品」を納入した弊社代理店ディストリビュータ又はディーラー に対して、お客様から連絡をして頂くことが必要です。連絡先がわからなかったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Toro Commercial Products Service Department
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420-1196

952–888–8801 または 800–952–2740
E-mail: commercial.warranty@toro.com

オーナーの責任

製品のオーナーは、*オペレーターズマニュアル*に記載された整備や調整を実行する責任があります。必要な整備や調整を怠ったことが原因で発生した不具合などの問題点はこの製品保証の対象とはなりません。

保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません

- Toroの純正交換部品以外の部品や Toro 以外のアクサセリ類を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。
- 推奨される整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。
- 運転上の過失、無謀運転など「製品」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 製品を使用したことによって消耗した正常なパーツ通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、ブレーキパッドおよびライニング、クラッチライニング、ブレード、リール、ローラおよびベアリングシールドタイプ、グリス注入タイプ共、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャスタホイール、ベアリング、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、この他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、フローメータ、チェックバルブが含まれます。
- 以下のような外部要因が原因で発生する不具合天候、格納保管条件、異物、不適切な燃料、冷却液、潤滑剤、添加物、水、薬品などの使用。
- 適正な燃料ガソリン、軽油、バイオディーゼルなどを使用しなかったり、品質基準から外れた燃料を使用したために発生した不具合。
- 通常の使用にともなう音、振動、磨耗、損耗および劣化。通常の使用に伴う「汚れや傷」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

部品

定期整備に必要な部品類「部品」は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって交換された部品は製品の当初保証期間中、保証の対象となり、取り外された製品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するかの判断は弊社が行います。場合により、弊社は再製造部品による修理を行います。

ディープサイクルバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーの保証

ディープサイクルバッテリーやリチウムイオンバッテリーは、その寿命中に放出することのできるエネルギーの総量kWhが決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなってゆきます。このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。注リチウムイオンバッテリーバッテリーの保証内容をご確認ください。

クランクシャフトのライフタイム保証プロストライプ 02657 モデルのみ

トロ社の純正摩擦ディスクおよびクランク安全ブレードブレーキクラッチ統合ブレードブレーキクラッチBBC摩擦ディスクアセンブリを当初から搭載し、当初の購入者様がトロ社の推奨する運転方法および定期整備を遵守してご使用されたプロストライプ製品には、クランクシャフトの曲がり不具合に対するライフタイム保証が適用されます。摩擦ワッシャ、ブレードブレーキクラッチBBCその他のデバイスを搭載した製品には、このクランクシャフトのライフタイム保証は適用されません。

保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします

エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「製品」の維持に必要な作業であり、これらに関わる費用はオーナーが負担します。

その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

Toro 社は、本製品の使用に伴って発生しうる間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。当社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。商品性や用途適性についての黙示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。

米国内では、間接的偶発的損害に対する免責を認めていない州があります。また黙示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合もあります。

排ガス保証についてのご注意

米国においては環境保護局EPAやカリフォルニア州法CARBで定められたエンジンの排ガス規制および排ガス規制保証があり、これらは本保証とは別個に適用されます。くわしくはエンジンメーカーのマニュアルをご参照ください。上に規定した期限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。製品に同梱またはエンジンメーカーからの書類に同梱されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧下さい。

米国とカナダ以外のお客様へ

米国またはカナダから輸出された製品の保証についてのお問い合わせは、お買いあげのToro社販売代理店ディストリビュータまたはディーラへおたずねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は弊社の正規サービスセンターにご相談ください。